

第2次川西市健幸まちづくり計画 進捗状況の年度別自己評価一覧

◎目標を上回った ○概ね目標通りだった △目標を下回った ×今年度実施せず (年度)

章	基本施策名（施策数）	自己評価	R 6
第3章 すべての世代の健康づくり と生活習慣病等の発症・重症化予防	1 栄養・食生活（2）	◎	1
	2 身体活動・運動（3）	○	28
	3 休養・心の健康（7）	△	2
	4 たばこ（4）	×	0
	5 アルコール（3）	×	0
第4章 ライフステージ別の課題に 応じた健康づくり	6 健康診査・各種健診・健康管理（11）	×	0
	1 親と子の健康（17）	◎	3
	2 学童・思春期の健康（学校保健等）（11）	○	33
	3 青壮年期・高齢期の健康（6）	△	0
		×	0
第5章 歯と口の健康づくり	1 生涯を通じた歯科疾患の予防と歯と口の動きの維持・向上（6）	◎	0
	2 支援が必要な人の健康づくり（4）	○	12
		△	0
		×	0
第6章 食育推進による健康まちづくり ～川西市食育推進計画～	1 “食”からひろがる健やかな体と豊かな心づくり（10）	◎	1
	2 “食”からひろがる地域のつながり（11）	○	27
	3 次世代へつながり、ひろがる食育の“輪”（4）	△	2
		×	0
第7章 健康を支える環境づくり	1 社会とのつながりの維持・向上（1）	◎	1
	2 健康になれる環境づくり（7）	○	4
	3 健康情報の提供体制の充実（2）	△	5
		×	0
第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり	1 救急医療体制の維持・充実（5）	◎	2
	2 地域医療機関との連携・地域包括ケアシステムの構築（8）	○	17
	3 災害時の医療体制の確保と感染症の発生に備えた医療体制の確保（3）	△	1
		×	0
年度合計		◎	8
		○	121
		△	10
		×	0
		計	139

1つの施策で複数の所管の自己評価があることから、施策数と自己評価の合計数は一致しない。

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第3章 すべての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防

基本施策1 栄養・食生活

【施策の推進方向】

- (1) 若年層に対する健康維持・増進と次世代の健康を育む対策を推進します。
- (2) 規則正しくバランスのとれた食生活を実践するための情報提供や料理体験などをを行います。
- (3) やせや低栄養等の予防を通じた生活機能の維持・向上に向け、食環境の改善を呼びかけます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	28	(1) (2)	食事診断の利用促進	保健センターの事業参加者に対し、食事診断を行い適切な指導を行います。	保健センター・予防 歯科センター	2	栄養診断ソフトを 用いた食事診断 利用者数(人)	149	—	94	◎	継続	各種教室で参加者に勧 奨をすることで利用促進 につながった。また、複 数の栄養士が診断結果 を確認することで、指導 の質の向上に繋がった。	—
2	28	(2) (3)	健康教室の開催	参加者の健康維持・改善を図る多画的な健康教室を開催します。	保健センター・予防 歯科センター	2	栄養・食生活健 康教育数 (人数/回)	325/92	—	388/86	○	継続	保健センター改修工事 のため、外部施設で実 施する事業も多く、健康 運動体験教室は熱中症 予防のため夏季の2回 分が未実施となった。	オンライン予約の導入、 参加賞の配付など、申 込のしやすさ、参加意 欲を促す取り組みを進 めます。

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第3章 すべての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防

基本施策2 身体活動・運動

【施策の推進方向】

- (1)運動習慣を有する子どもの割合を増やし、心身の健康の保持・増進や体力の向上を図ります。
- (2)日常生活において、身体活動全体の増加・活発化を促します。
- (3)日頃から自身の健康を意識しつつ、幸せを実感できる健幸まちづくりに向けた取組を進めます。
- (4)ライフステージやライフスタイルに応じて気軽に健康づくりに取り組めるよう、ICT機器を活用した健康づくりを普及啓発します。

【計画作成時の目標の方向性】

- 1.新規開始
- 2.維持または継続
- 3.増加またはさらに推進
- 4.その他★

- ◎：目標を上回った
○：概ね目標通りだった
△：目標を下回った★
×：今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	30	(1)	運動実践に関する 情報発信と支援体 制の整備	身近な地域で運動を実践・継続できるよう、市内運 動施設などの情報集約を行い、目的に応じた施設 や事業の案内に努めます。	文化・観光・スポー ツ課	2	—	—	—	—	○	継続	窓口や電話でのお問い 合わせで、社会体育施 設の利用方法や、ス ポーツ協会・スポーツク ラブ21などの団体紹介 を行った。	—
2	30	(2) (3)	日常生活における運 動の啓発	歩くことを基本とした取り組みの実施やきんたくん健 幸体操の普及に努め、市民の運動習慣の定着を図 ります。	保健センター・ 予防歯科センター	2	A:健康ポイン ト事業利用者 数(人) B:きんたくん 健幸体操派遣 依頼(回)	A:3,363 B:2	—	B:14	○	継続	A:健康ポイント事業を 令和7年1月より開始。 スマホアプリを用い、歩 くことで健康につながる 取組を40歳以上を対象 に展開していく。 B:令和5年度で、総合 体育館での体操は終 了。今後は、リーダー派 遣と各リーダーが地域 で活動していく。	—
3	30	(2)	機能訓練の実施	麻痺や拘縮(関節がかたくなって動きにくくなること) 等の機能障がい及び日常生活動作等の能力障が いに対する指導や訓練を実施します。 また、介護予防担当所管と協力・連携しながら、老 化等による機能低下の防止に努めます。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	感染対策を講じつつ、 介護予防の観点から事 業を進めることができ た。 引き続き実施する。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料1

第3章 すべての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防

基本施策3 休養・心の健康

【施策の推進方向】

- (1) ライフステージに応じた心の健康づくりに関する知識の普及を図るとともに、相談支援体制を充実します。
- (2) 心の悩みを持つ人に対する理解を深め、専門・関係機関と連携しながら地域における生活を支援します。
- (3) 過重労働の解消に向け、健康を保持しながら労働以外の生活のための時間を確保できるよう努めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

1. 新規開始 ◎: 目標を上回った
2. 維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
3. 増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
4. その他★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	32	(1) (2)	自殺予防対策	いのちの授業やいのちとこころのセミナーを通じて自尊感情の醸成や自殺予防の周知・啓発を進めるとともに、ゲートキーパー※の育成等による人材育成を通じて自殺予防対策に努めます。 ※ゲートキーパー: 悩んでいる人に気づき、声をかけ話を聞いて必要な支援につなげ、見守る人のこと。	地域福祉課	2	—	—	—	—	○	継続	①「いのちと心のセミナー」を通じて自尊感情の醸成や自殺予防の周知・啓発を進めた。 ② 中学校2校を対象に「いのちの授業」を実施した。 ③ 市職員・一般市民を対象として自殺予防にかかる人材育成講座を開催した。	—
2	32	(2)	PTSD対策	犯罪や事故などで生じた被害者(加害者の家族も含む)のPTSD(心的外傷後ストレス障害)について、県の相談窓口等との連携を図ります。	生活安全課 (地域福祉課)	2	—	—	—	—	○	継続	必要に応じ、県の相談窓口等につなぐなど連携を図った。	—
3	32	(1) (2)	心の相談事業	日常生活のストレス、引きこもり等で、精神に障がいや来す恐れのある人及びその家族に対して、専門医と精神福祉士等が相談に応じます。	障害福祉課	2	—	—	—	—	○	継続	平成14年度に県から事務移管を受け、毎月第3金曜日に「心の相談」を実施している。	医療機関に受診し支援に結びついたケースもあるが、相談者のその後の状況把握が難しいという課題がある。

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第3章 すべての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防

基本施策3 休養・心の健康

【施策の推進方向】

- (1) ライフステージに応じた心の健康づくりに関する知識の普及を図るとともに、相談支援体制を充実します。
- (2) 心の悩みを持つ人に対する理解を深め、専門・関係機関と連携しながら地域における生活を支援します。
- (3) 過重労働の解消に向け、健康を保持しながら労働以外の生活のための時間を確保できるよう努めます。

【計画作成時の目標の方向性】 【自己評価】

1. 新規開始 ◎: 目標を上回った
2. 維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
3. 増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
4. その他★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載順番	計画書本編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の担当課)	計画策定時の目標の方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6年度の実績値	計画策定時の目標値	前回(R5)の数値				
4	33	(1) (2)	カウンセリング事業	同じ悩みを持つ仲間を助けるという視点から、精神障がい者などによるピアカウンセリング※の実施、自助グループ育成の支援などに努めます。 ※ピアカウンセリング: 何らかの共通点(同じような環境や悩み)を持つ(または経験した)グループ間で対等な立場で同じ仲間として行われるカウンセリングのこと。	障害福祉課	2	—	—	—	—	△	継続	川西市障がい者基幹相談支援センターにおいて、精神障がい者をはじめ、障がい種別ごとのピアカウンセリングを実施している。また、自助グループ育成支援として、障がい者が交流できる場を設置、運営する団体2か所に対し補助を行った。	ピアカウンセリングの利用者が少ないため、利用推進に向けた取り組みやピアカウンセリングの在り方を検討していく必要がある。
5	33	(1) (2)	精神保健対策の連携	精神保健対策の円滑な推進のため、県健康福祉事務所などの関係機関との連携を進めます。	障害福祉課	2	—	—	—	—	○	継続	平成27年度より「伊丹健康福祉事務所及び伊丹・川西警察署等地域連絡協議会」に参加している。随時ケース検討会議を開催若しくは参加し、連携を図っている。	—
6	33	(1) (2)	精神障がい者に対する理解の促進	精神障がい者に対する市民の理解を深めるため、講演会の開催などの啓発活動を実施し、精神障がい者の社会復帰の推進を行うとともに、暮らしやすい地域づくりに努めます。	障害福祉課	2	—	—	—	—	○	継続	事業所向けに講演会を実施した。	一般に向けた啓発活動の実施方法を検討する必要がある。
7	33	(1) (2)	精神障がい者に対する相談支援	市内に設置している精神障がい者相談員及び市役所と市障がい者基幹相談支援センター並びに委託相談支援事業所で実施している相談支援のさらなる充実を図ります。	障害福祉課	2	—	—	—	—	○	継続	障害福祉課に2名の精神保健福祉士を配置しているほか、相談支援事業所にも配置されており、相談支援体制の充実を図っている。また、県が実施主体となり、精神障がい者の福祉の向上を図るため、精神障がい者相談員を地域に配置している。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第3章 すべての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防

基本施策4 たばこ

【施策の推進方向】

(1)喫煙による健康被害に関する知識の普及を図り、禁煙支援と受動喫煙の防止対策を進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

1.新規開始
2.維持または継続
3.増加またはさらに推進
4.その他★

◎:目標を上回った
○:概ね目標通りだった
△:目標を下回った★
×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

＜市の取り組み＞

記載順番	計画書本編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の担当課)	計画策定時の目標の方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実績値	計画策定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	35	(1)	たばこの影響に関する理解の促進	市広報誌やホームページをはじめとする様々な広報媒体による啓発とともに、講演会などの健康教育事業の実施により、たばこの健康への影響に関する情報提供に努めます。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	広報媒体による啓発と事業所に対する健康教育を実施した。	—
2	35	(1)	受動喫煙防止対策	兵庫県の受動喫煙の防止等に関する条例の制定趣旨を受け、市の公共施設における受動喫煙防止対策を講じるとともに、兵庫県の普及啓発事業に協力します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	兵庫県の受動喫煙の防止等に関する条例に基づき、受動喫煙の防止啓発(ポスター掲示)を実施した。	—
3	35	(1)	禁煙支援等の推進	喫煙や受動喫煙による健康被害の啓発など、禁煙教育や相談業務を実施します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	健康教育や健康相談等事業を通して相談を実施した。	—
4	35	(1)	20歳未満の者の喫煙防止対策	健やかな成長の妨げとなる20歳未満の者の喫煙を防止するため、家庭や学校などと連携し、喫煙に関する正しい知識の普及に努めます。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	小・中学校の保健の授業で学習している。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第3章 すべての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防

基本施策5 アルコール

【施策の推進方向】

- (1) アルコールに対する理解が深まるよう、知識の普及に努めます。
 (2) 20歳未満の者に対しては、飲酒を防止する教育を行います。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
 ・継続
 ・拡充
 ・縮小★
 ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	38	(1)	アルコールに関する 知識の普及	ストレスや不安などの解消をアルコールに頼らない 習慣づくりや、アルコールとの上手な付き合い方の 啓発に努めます。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	各種健康に関する事業 などの機会に、アルコー ルによる健康被害の啓 発を行うとともに、相談 業務を行った。	—
2	38	(1)	アルコール問題に関 する相談窓口の情報 提供	アルコール問題を抱える多量飲酒者やその家族に 対して、県が実施する「アルコール相談」について情 報提供します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	アルコール問題を抱え る多量飲酒者やその家 族に対して、県が実施 する「アルコール相談」 について情報提供を 行った。	—
3	38	(1) (2)	20歳未満の者の飲 酒防止対策	低年齢化が進んでいる20歳未満の者の飲酒を防止 するため、家庭や学校、地域において、アルコール に関する正しい知識の普及を図ります。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	小・中学校の保健の授 業で学習している。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第3章 すべての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防

基本施策6 健康診査・各種検診・健康管理

【施策の推進方向】

- (1) 定期的な健康診査やがん検診の受診の必要性について周知するとともに、市民が受診しやすい環境づくりに努めます。
- (2) 健康の保持・増進に向けた知識を普及し、生活習慣の改善に向けた意識の向上を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載順番	計画書本編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の担当課)	計画策定時の目標の方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6年度の実績値	計画策定時の目標値	前回(R5)の数値				
1	40	(1) (2)	がん検診の啓発	早期発見・早期治療につなげるため、がん検診の有効性などの啓発活動を実施し、無関心層等にも周知を図ります。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	がん検診のチラシを作成し、包括連携協定を締結している企業を通じて配布した。また、SNSに掲載するなど、新たな啓発活動を行った。	無関心層へ健(検)診の必要を訴えるため、これまでと違う新たな視点での取り組み。
2	40	(1) (2)	がん検診受診率向上	国や市国民健康保険担当等とも連携し、がん検診受診率向上のための施策を実施し、受診率向上をめざします。	保健センター・ 予防歯科センター	3	—	—	—	—	○	継続	令和5年度より、5大がん検診を無料化しているが、受診率は横ばいである。また、協会けんぽが実施する健診時にがん検診を同時実施できるよう調整し、検診機会の拡充を図った。	受診率増に向けて、左記機会拡充を継続実施するとともに、がん検診の周知方法を検討する。
		(1) (2)			国民健康保険課	3	—	—	—	—	○	継続	出張特定健診時に各種がん検診を引き続き実施した。	令和5年度は4回実施したものを、令和6年度は協会けんぽとの連携により8回に増やすことで受診率の向上を図った。
3	40	(1) (2)	骨粗しょう症検診	診断結果の説明及び栄養に関する情報提供を行います。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	数値は1か月後の事後フォロー者数を含む。また、待ち合いにモニターを設置し、受診者への案内や説明に努めた。	—
4	40	(1)	肝炎ウイルス検診(B型・C型)	肝炎ウイルス検診(B型・C型)受診の必要性に関する広報など、積極的な周知を行います。	保健センター・ 予防歯科センター	3	—	—	—	—	○	継続	40歳から65歳までの5歳刻みの未受診者へ、個別勧奨通知を送付した。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第3章 すべての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防

基本施策6 健康診査・各種検診・健康管理

【施策の推進方向】

- (1) 定期的な健康診査やがん検診の受診の必要性について周知するとともに、市民が受診しやすい環境づくりに努めます。
- (2) 健康の保持・増進に向けた知識を普及し、生活習慣の改善に向けた意識の向上を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載順番	計画書本編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の担当課)	計画策定時の目標の方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実績値	計画策定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
5	40	(1)	健診の受けやすい環境づくり	市民ニーズにあわせて、特定健康診査や後期高齢者健康診査、胃・胸部等のがん検診を休日に実施します。また、特定健康診査等とがん検診が同時受診できる環境の整備など、より受診しやすい体制づくりを進めます。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	保健センターが大規模改修工事中であったものの、レディース検診、日曜検診を2回実施した。また、WEBでも予約できる体制を導入している。協会けんぽが実施する健診時にがん検診を同時実施できるようにしている。	—
6	40	(1)	健康診査体制の充実	市民の健康の保持・増進を図るため、各種健康診査を実施するとともに、健診結果にあわせたフォロー体制を構築します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	要精密検査となったものの、精密検査の結果が把握できていない方に対し、確認通知を送付した。	—
7	40	(2)	検診結果の活用	検診結果の受診者ごとの経年変化を把握するなど、適正な結果分析及び情報提供を行います。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	過去の検診結果を並べて表示するなど、一目でわかるよう結果票を工夫した。	—
8	40	(1) (2)	半日人間ドック	市民の健康管理の一環として簡易(3時間程度)に受診できる人間ドックを実施します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	△	継続	毎週月・火曜日に半日人間ドックを実施している。大規模改修工事や後期高齢者の助成制度の変更により、受診者数が減少している。	利用者数増加に向け、周知や指導内容の充実に努める必要がある。
9	40	(1)	各種精密検査	保健センター内メディカルセンターで、各種精密検査を継続します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	健(検)診の有用性の周知や受診勧奨を行うとともに、改めて医療機関への周知を行い受診者数を増やした。	—
10	40	(2)	特定保健指導	特定保健指導の実施レベルの向上に努め、利用者数の増加を図るとともに生活改善を支援します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	個別指導等を充実させ、実施することができた。	—

第3章 すべての世代の健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防

基本施策6 健康診査・各種検診・健康管理

【施策の推進方向】

- (1) 定期的な健康診査やがん検診の受診の必要性について周知するとともに、市民が受診しやすい環境づくりに努めます。
- (2) 健康の保持・増進に向けた知識を普及し、生活習慣の改善に向けた意識の向上を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載順番	計画書本編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の担当課)	計画策定時の目標の方向性	評価参考指標*設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標(単位)	令和6年度の実績値	計画策定時の目標値	前回(R5)の数値				
11	40	(2)	健康相談体制	健診結果の動向や市民の要望にあわせてテーマを設定しての健康相談や、個人の状況にあわせた訪問指導や電話・面接相談により、健康の維持・向上を支援します。	保健センター・予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	集団指導や個別指導を実施することができた。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第4章 ライフステージ別の課題に応じた健康づくり

基本施策1 親と子の健康

【施策の推進方向】

- (1) 妊娠期から子育て期にわたって、子どもの成長を見守り、保護者が孤立せず、安心して子育てできるよう切れ目ない支援をより充実していきます。
- (2) すべての子どもが健やかに育つよう、健康診査や相談等を関係機関と連携しながらきめ細やかに実施します。なお、健診未受診者に対しても状況把握に努めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	43	(1)	妊娠期から子育て 期にわたる一体的 支援	児童福祉と母子保健の連携を強化し、妊娠期から 子育て期にわたるまで一体的に切れ目なく支援しま す。	こども若者相談セン ター	2	合同ケース会 議等開催回数 (回)	10	6	-	◎	継続	令和6年度は合同ケ ース会議等の運営方法 の整備・検討を行い、年 度途中から会議開催に 至った。そのため、前身 となる会議も平行して開 催しており、開催回数が 多くなっている。(合同 ケース会議は通常年6 回開催)	—
		(1)												
2	43	(1)	治療費・検査費の助 成事業(不育症・不 妊治療ペア検査)	不育症の治療費及び検査費、夫婦で受けた一般不 妊治療のために必要な検査費の一部を助成しま す。	保健センター・ 予防歯科センター	2	助成延べ人数 (人) A: 不育症治療 費 B: 不妊治療 ペア検査費	A: 6 B: 18	—	A: 4 B: 22	○	継続	不育症について医療保 険が適応されない検査 及び治療費の一部、ま た、不妊症について医 師が認める一般不妊治 療のために必要な医療 保険が適応されない検 査費の一部を市が負担 し、対象者の経済的負 担を軽減した。	—
		(1)												

第4章 ライフステージ別の課題に応じた健康づくり

基本施策1 親と子の健康

【施策の推進方向】

- (1) 妊娠期から子育て期にわたって、子どもの成長を見守り、保護者が孤立せず、安心して子育てできるよう切れ目ない支援をより充実していきます。
- (2) すべての子どもが健やかに育つよう、健康診査や相談等を関係機関と連携しながらきめ細やかに実施します。なお、健診未受診者に対しても状況把握に努めます。

【計画作成時の目標の方向性】

- 1.新規開始
2.維持または継続
3.増加またはさらに推進
4.その他★

【自己評価】

- ◎:目標を上回った
○:概ね目標通りだった
△:目標を下回った★
×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載			自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)	
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値					前回 (R5)の 数値
3	43	(1)	母子健康手帳の交付	妊娠、出産、新生児及び幼児期の健康の記録ができ、かつ情報が得られる母子健康手帳を交付し、母子の健康管理と親になることに主体的に取り組めるよう支援します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	交付数(人)	797	—	778	○	継続	妊娠届出数797人の内、妊娠11週未満の届出が95.4%と初期に届出されている割合が高い。	—
4	43	(1)	妊婦健康診査費の助成事業	妊婦健康診査費用の一部を助成します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	新規助成者数(人)	876	—	860	○	継続	経済的負担を軽減し、早期から適切に積極的な受診を勧奨した。	—
5	43	(1)	低所得妊婦初回産科受診料支援事業	低所得の妊婦について、経済的負担の軽減を図るとともに、必要な支援につなげるため、初回の産科受診料を助成します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	低所得妊婦初回産科受診料助成延べ人数(人)	5	—	4	○	継続	経済的負担を軽減し、早期から適切に積極的な受診を勧奨した。	—
6	43	(1)	妊産婦への面接指導	すべての妊産婦が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から切れ目ない支援を行います。妊娠届出時・妊娠後期・出産後に専門職がアンケートや面談などを実施し、必要なサービスにつなぎ支援します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	A:妊婦への面接指導件数 B::産婦への面接指導件数(件)	A:897 B:973	—	A:908	○	継続	妊娠届出時に、保健師・助産師が全数面談し母子健康手帳を交付した。必要時には関係所管と連携し、妊娠期から切れ目のない支援を実施した。	—
7	43	(1)	マタニティマークの普及と啓発	母子健康手帳交付時にマタニティキーホルダーなどを配布するとともに、市民への周知、啓発に努めます。	保健センター・ 予防歯科センター	2	マタニティキーホルダーの交付割合(%)	100	—	100	○	継続	母子健康手帳交付時にマタニティキーホルダーを配布し啓発した。	—
8	44	(1)	妊娠中の学習会	妊娠・出産・育児に関する学習会を親になる人やパートナーを対象に実施します。知識や手技の習得や、パートナーと協力して子育てする意識の向上、地域の教室での出会いを通して孤立や育児不安の軽減を図り、安心して、妊娠、出産、育児ができるよう支援します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	A:母親学級参加延べ人数 B:両親学級参加延べ人数 C:プレママ＆パパ離乳食教室	A:123 B:278 C:41	—	A:103 B:288 C:62	○	継続	—	—
9	44	(1) (2)	妊婦への訪問	妊婦の要望に応じて、出産に関する相談や保健指導を家庭に訪問して行います。また、必要により関係機関と連携し、妊婦とその家族を支援します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	訪問延べ件数(件)	20	—	16	○	継続	希望者と必要な方へ訪問支援を実施した。	—

第4章 ライフステージ別の課題に応じた健康づくり

基本施策1 親と子の健康

【施策の推進方向】

- (1) 妊娠期から子育て期にわたって、子どもの成長を見守り、保護者が孤立せず、安心して子育てできるよう切れ目ない支援をより充実していきます。
- (2) すべての子どもが健やかに育つよう、健康診査や相談等を関係機関と連携しながらきめ細やかに実施します。なお、健診未受診者に対しても状況把握に努めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始
2.維持または継続
3.増加またはさらに推進
4.その他★

- ◎:目標を上回った
○:概ね目標通りだった
△:目標を下回った★
×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標*設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
10	44	(1) (2)	早期の養育支援	養育上支援を必要とする親子または妊婦の情報を、医療機関から診療情報提供方式にて入手し、早期に対象を把握し専門職が家庭訪問を行い支援します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	診療情報提供 件数(件)	144	—	144	○	継続	診療情報提供に基づき、早期の介入支援を行った。訪問件数は支援を要する母子への保健指導と重複するため、計上せず。	—
11	44	(1) (2)	支援を要する母子への保健指導	母子の心身の健康管理や保持増進のため、訪問を希望する人や若年などの支援を必要とする人へ家庭訪問等を行い、産後の生活や育児に関し必要な保健指導を行います。	保健センター・ 予防歯科センター	2	産婦訪問延べ 件数(件)	443	—	454	○	継続	訪問希望者や支援を必要とする産婦に対し、家庭訪問等を行った。	—
12	44	(2)	乳幼児健康診査	乳幼児健康診査により、発育、発達、生活習慣、子育て状況の把握を行い、疾病のスクリーニングと子育て相談に応じ、妊娠期から継続して切れ目ない支援を行います。また、未受診児に対しては家庭訪問を実施し、状況の把握に努めます。	保健センター・ 予防歯科センター	2	受診率(%)	99.9	—	99.3	○	継続	4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査を実施し、指導や相談を行った。	—
13	44	(1) (2)	多胎児への支援	多胎児の妊産婦へ情報提供や必要に応じて訪問等の支援をします。また、保護者同士の交流の場として多胎児交流会を実施します。	こども若者相談セン ター	2	多胎児交流会 の開催回数 (回)	14	14	14	○	継続	—	—
		(1) (2)			保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	多胎妊産婦に対して、交流の場を紹介した。	—
14	44	(2)	未熟児養育医療制度	未熟児養育医療制度に基づき、医療費等を給付します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	給付件数(件)	18	—	29	○	継続	—	—
15	44	(2)	幼児精神精密健康診査	乳幼児健康診査等で精神発達面において専門的な助言が必要な場合に、医師などによる発達相談、助言により幼児の健全な発達を促すことに努めます。また、必要に応じて継続支援の実施、相談支援等必要な機関を紹介します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	相談延べ件数 (件)	106	—	31	○	継続	—	—
16	44	(2)	就学までの継続支援	3歳児健康診査の終了後においても、5歳児発達相談事業等で、関係機関や関係所管と連携しながら、相談体制や相談内容の充実に努め、子どもの成長に応じた支援を行います。	保健センター・ 予防歯科センター	2	相談票の回収 率(%)	88.6	—	90.7	○	継続	5歳児子育て相談票の未提出者に対して、相談票を再送付した。	—

第4章 ライフステージ別の課題に応じた健康づくり

基本施策1 親と子の健康

【施策の推進方向】

- (1) 妊娠期から子育て期にわたって、子どもの成長を見守り、保護者が孤立せず、安心して子育てできるよう切れ目ない支援をより充実していきます。
- (2) すべての子どもが健やかに育つよう、健康診査や相談等を関係機関と連携しながらきめ細やかに実施します。なお、健診未受診者に対しても状況把握に努めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
17	44	(2)	定期予防接種の推進	国の定期の予防接種等の施策を推進することで、個人の病気の感染と、社会全体の流行を防ぎます。また、適切な接種のため、接種医療機関の確保や体制づくりを行うとともに、市民への周知を図ります。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	市医師会を通じて医療機関に定期予防接種業務を委託。市HP、広報誌、個別通知、学校を通じた案内文書の配付、ミマモルメの活用を行った。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第4章 ライフステージ別の課題に応じた健康づくり

基本施策2 学童・思春期の健康（学校保健等）

【施策の推進方向】

- (1) 運動習慣を有する子どもの割合を増やし、心身の健康の保持・増進や体力の向上を図ります。
- (2) 喫煙や飲酒、薬物乱用・市販薬等の過剰摂取を含むの防止を図るため、イベント等を通して啓発を強化します。
- (3) 体と心の健康を自らがつくるなど、体と心を一体としてとらえた教育や相談を進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

1. 新規開始
2. 維持または継続
3. 増加またはさらに推進
4. その他★

- ◎：目標を上回った
○：概ね目標通りだった
△：目標を下回った★
×：今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載順番	計画書編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の担当課)	計画策定時の目標の方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6年度の実績値	計画策定時の目標値	前回(R5)の数値				
1	47	(2)	関係機関の連携による健康や栄養指導	学校医や学校歯科医、学校薬剤師等の専門家との協力体制を推進し、健康や栄養指導の充実を図ります。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	定期健診や学校環境衛生検査、学校保健委員会等で学校医等と連携をとっている。	—
2	47	(1)	スポーツ活動の推進	クラブ活動において、健康スポーツ医学の考え方を取り入れた運動を奨励し、スポーツを通して健康の保持や増進を図ります。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	契約している医師と連携し研修を行っている。	—
3	47	(3)	健康教育の推進、保健学習や指導	生涯を通じて生命を大切に心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進と児童や生徒の心のケアの充実のために、心と体を一体としてとらえた保健学習と指導に努めます。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	教育活動において、保健学習を適宜行っている。	—
4	47	(3)	児童生徒のための相談体制の整備	児童や生徒の心の問題に迅速に対応し、気軽に相談できる体制を整備します。	こども若者相談センター	2	教育相談の相談延べ回数(回)	4,758	—	5,939	○	継続	令和6年度から組織改正で教育支援センターが教育推進部に移管したため、教育相談全体件数から教育支援センターでの教育相談件数分が減少した。センターでの面接・電話相談では、昨年と比較すると電話相談が増加し、面接相談が減少した。引き続き、必要に応じて、関係機関と連携を図りながら、支援を進めていく。	新規の相談ケースへの早期対応の実現を進めていく。
5	47	(2)	教職員の指導力の向上	いじめやカウンセリングなどに関する教職員の研修を充実させ、児童や生徒の心の健康を推進する実践的な指導力の向上に努めます。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	適宜、研修を行っている。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第4章 ライフステージ別の課題に応じた健康づくり

基本施策2 学童・思春期の健康（学校保健等）

【施策の推進方向】

- (1) 運動習慣を有する子どもの割合を増やし、心身の健康の保持・増進や体力の向上を図ります。
- (2) 喫煙や飲酒、薬物乱用・市販薬等の過剰摂取を含む・の防止を図るため、イベント等を通して啓発を強化します。
- (3) 体と心の健康を自らがつくるなど、体と心を一体としてとらえた教育や相談を進めます。

【計画作成時の目標の方向性】 【自己評価】

1. 新規開始
2. 維持または継続
3. 増加またはさらに推進
4. その他★

- ◎：目標を上回った
○：概ね目標通りだった
△：目標を下回った★
×：今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
6	47	(3)	児童生徒の心の健康問題に対する総合支援	ストレスの増大などにより心に問題を抱える児童生徒や、発達に課題があるなど特別な支援を必要とする児童生徒に対して、個々の状況に応じ支援が求められている中、関係機関と連携しながら、充実したカウンセリングの構築をめざします。	こども若者相談センター	2	教育相談の相談延べ回数(回)	4,758	—	5,939	○	継続	令和6年度から組織改正で教育支援センターが教育推進部に移管したため、教育相談全体件数から教育支援センターでの教育相談件数分が減少した。センターでの面接・電話相談では、昨年と比較すると電話相談が増加し、面接相談が減少した。引き続き、必要に応じて、関係機関と連携を図りながら、支援を進めていく。	必要に応じて、情報共有を実施していくことで、関係機関と連携を図りながら、支援を進めていく。
7	47	(3)	不登校生への支援	不登校については、児童生徒の思いを受けとめ、理解を深めながら、保護者や関係機関の連携強化に努めます。	教育保育課	2	教育支援センター登録者数(人)	49	—	54	○	拡充	全小・中学校に校内サポートルームが配置された事等により、セオリアの登録者数が昨年と比較して減少した。	市の南部にある教育支援センターへは、立地上遠方の児童生徒が利用しづらいことや、支援拡充の観点から市の北部に新たな「教育支援センター」を開設予定である。
8	47	(2)	アルコールやたばこ、薬物対策の強化	飲酒や喫煙、シンナー、薬物乱用(市販薬等の過剰摂取を含む)の防止に努めるとともに、心身に与える影響について正しい知識の普及に努めます。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	保健の授業等で学習している。	—
9	48	(1) (2)	学校安全の推進	児童や生徒の安全意識を高め、学校管理下における事故の減少を図るなど、学校安全の一層の推進を図ります。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	各校で学校保健委員会等を開催している。	—
10	48	(1) (2)	家庭や地域、学校の連携による学校保健活動	学校保健会での取り組みや保健教育などを通して、学校関係者のみならず、家庭や地域との連携を深め、三位一体となった学校保健活動を推進します。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	各校で学校保健委員会等を開催している。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第4章 ライフステージ別の課題に応じた健康づくり

基本施策2 学童・思春期の健康（学校保健等）

【施策の推進方向】

- (1) 運動習慣を有する子どもの割合を増やし、心身の健康の保持・増進や体力の向上を図ります。
- (2) 喫煙や飲酒、薬物乱用・市販薬等の過剰摂取を含む・の防止を図るため、イベント等を通して啓発を強化します。
- (3) 体と心の健康を自らがつくるなど、体と心を一体としてとらえた教育や相談を進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

1. 新規開始 ◎：目標を上回った
2. 維持または継続 ○：概ね目標通りだった
3. 増加またはさらに推進 △：目標を下回った★
4. その他★ ×：今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
11	48	(1) (2)	家庭での健康づくり 支援	生活の基盤である家庭で、心の健康や正しい食生活、適切な運動など健康づくりのための知識を家族ぐるみで学べるよう、効果的な啓発活動に取り組みます。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	保健だよりや掲示物等を通じて、学校から適宜啓発している。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第4章 ライフステージ別の課題に応じた健康づくり

基本施策3 青壮年期・高齢期の健康

【施策の推進方向】

- (1)より早期からのフレイル予防・オーラルフレイル予防に取り組みます。
- (2)適正な食生活を実践するための情報提供や料理体験などを行います。
- (3)高齢者の歯の喪失予防や口腔機能の低下を防止することで、8020 健康長寿社会の実現を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	51	(2)	食事診断の利用促進【再掲】	保健センターの事業参加者に対し、食事診断を行い適切な指導を行います。	保健センター・ 予防歯科センター	2	栄養診断ソフトを用いた食事診断利用者数(人)	149	—	94	◎	継続	各種教室で参加者に勧奨をすることで利用促進につながった。また、複数の栄養士が診断結果を確認することで、指導の質の向上に繋がった。	—
2	51	(1)	健康教室の開催【再掲】	参加者の健康維持・改善を図る多面的な健康教室を開催します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	栄養・食生活健康教育数(人数/回)	325/92	—	388/86	○	継続	保健センター改修工事のため、外部施設で実施する事業も多く、健康運動体験教室は熱中症予防のため夏季の2回分が未実施となった。	オンライン予約の導入、参加賞の配付など、申込のしやすさ、参加意欲を促す取り組みを進めます。
3	51	(1)	日常生活における運動の啓発【再掲】	歩くことを基本とした取組の実施やきんたくん健幸体操の普及に努め、市民の運動習慣の定着を図ります。	保健センター・ 予防歯科センター	2	A:健康ポイント事業利用者数(人) B:きんたくん健幸体操派遣依頼(回)	A:3,363 B:2	—	B:14	○	継続	A:健康ポイント事業を令和7年1月より開始。スマホアプリを用い、歩くことで健康につながる取組を40歳以上を対象に展開していく。 B:令和5年度で、総合体育館での体操は終了。今後は、リーダー派遣と各リーダーが地域で活動していく。	—
4	51	(1)	機能訓練の実施【再掲】	麻痺や拘縮等の機能障がい及び日常生活動作等の能力障がいに対する指導や訓練を実施します。また、介護予防担当所管と協力・連携しながら、老化等による機能低下の防止に努めます。	保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	感染対策を講じつつ、介護予防の観点から事業を進めることができた。 引き続き実施する。	—

第4章 ライフステージ別の課題に応じた健康づくり

基本施策3 青壮年期・高齢期の健康

【施策の推進方向】

- (1) より早期からのフレイル予防・オーラルフレイル予防に取り組みます。
- (2) 適正な食生活を実践するための情報提供や料理体験などを行います。
- (3) 高齢者の歯の喪失予防や口腔機能の低下を防止することで、8020 健康長寿社会の実現を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策の 推進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
5	51	(1)	高齢者の保健事業 と介護予防の一体 的实施	後期高齢者に対し、介護予防と健康づくりのための ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチを 実施することで、介護・疾病・重症化予防等を一体的 に実施します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	ポピュレーシ ョンアプロ ーチ実施回 数(グルー プ数)/参 加人数	72(36) /837	—	66(33) /748	○	継続	多くの高齢者へフレイル 対策の重要性について 浸透を図ることができ た。	—
6	51	(1) (3)	歯周病検診 歯周病予防啓発事 業 口腔機能の維持・向 上事業	歯周病の予防と早期発見、オーラルフレイル予防 等、生涯を通じた歯と口の健康づくりに関する知識 を普及啓発するため、歯科健診や歯科相談、口腔 がん検診を実施します。 また、歯と口の健康に必要な最新情報の提供や口 腔疾患の予防・治療、生活習慣病を予防・改善す るために必要な食生活や歯と口の健康の関係等につ いてのセミナーや教室を開催します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	A:歯周病健診 (集団)受診者 数(人) B:口腔がん検 診、成人歯科 健診受診率 (%)	A:772 (内後期 高齢者 117) B:5.10 (993人)	—	A:506 (内後期 高齢者 63人 B:5.75 (1111 人)	○	継続	オーラルフレイル(お口 の衰え)検診を新規に 始めたことにより、後期 高齢者の参加者が増加 した。	オーラルフレイル事業 の周知とハイリスクへの アプローチをどのように 行っていくのが課題で ある。

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第5章 歯と口の健康づくり

基本施策1 生涯を通じた歯科疾患の予防と歯と口の働きの維持・向上

【施策の推進方向】

- (1)関係機関との連携により、ライフステージに応じた歯科保健事業に取り組み、「8020運動」の推進に努めます。
- (2)「噛む・かむ・カミング 健康づくり ～ひとくち30回運動～」を推進するため、「よく噛み、じょうずに飲み込む力」の育成に取り組むことで、口腔機能の維持・向上を図り、生涯にわたる歯と口の健康づくりを推進します。
- (3)歯周病を有する人を減少させることにより歯の喪失を防止するとともに、糖尿病等の全身疾患の重症化リスクの軽減等により全身の健康の保持・増進を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】 【自己評価】

- 1.新規開始
- 2.維持または継続
- 3.増加またはさらに推進
- 4.その他★

- ◎:目標を上回った
○:概ね目標通りだった
△:目標を下回った★
×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載順番	計画書本編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の担当課)	計画策定時の目標の方向性	評価参考指標*設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6年度の実績値	計画策定時の目標値	前回(R5)の数値				
1	56	(1)	妊婦歯科健診 妊婦歯科保健指導	妊娠をきっかけに、重症化しやすい歯周病の予防や妊娠中につくられる子どもの歯についての知識等、母子ともに生涯健康な自分の歯で過ごすための情報を提供します。 ・妊婦歯科教室(母親学級) ・妊婦歯科健診(歯科医院)	保健センター・ 予防歯科センター	2	A:妊婦歯科教室参加者(人) B:妊婦歯科健診受診率(%)	A:60 B:25.1	—	A:67 B:29.8	○	継続	母親学級2回コースの内1回目に歯科保健指導を実施した。	—
2	56	(1) (2)	乳幼児歯科健診 乳幼児歯科保健指導	母子保健法に基づく乳幼児歯科健診のほか、ライフサイクルに応じた歯科健診、歯科保健指導により、乳歯から永久歯への健全な口腔の育成や食べる力を育てるための情報提供や支援をします。 ・もぐもぐ離乳食教室 ・1歳児親子歯科健診 ・1歳6か月児健康診査歯科健診 ・2歳児のびのび教室 ・3歳児健康診査歯科健診 ・2.6歳児・3.6歳児歯科健診	保健センター・ 予防歯科センター	2	乳幼児健診・教室参加者 A:法定健診 B:その他 C:保育所指導(人)	A:1,905 B:759 C:351	—	A:1,989 B:1,223 C:371	○	継続	周知方法や希望者への個別案内等を検討した。	個別案内を廃止したことに替わる案内の方法が必要になる。
		(1) (2)			教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	歯科医師会や予防歯科センターと連携し、啓発している。	—
3	56	(2)	学校歯科検診 歯科保健啓発事業	毎年の歯科検診に加え、乳歯から永久歯への交換期にあわせて歯みがきの確認や、むし歯や歯周病の知識を普及啓発します。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	歯科医師会と連携し、啓発している。	—
4	57	(1) (2)	歯周病検診 歯周病予防啓発事業 口腔機能の維持・向上事業【再掲】	歯周病の予防と早期発見、オーラルフレイル予防等、生涯を通じた歯と口の健康づくりに関する知識を普及啓発するため、歯科健診や歯科相談、口腔がん検診を実施します。また、歯と口の健康に必要な最新情報の提供や口腔疾患の予防・治療、生活習慣病を予防・改善するために必要な食生活や歯と口の健康の関係等についてのセミナーや教室を開催します。 ・市民歯科健診 ・健康診査歯科健診(後期高齢者含む) ・口腔がん検診 ・歯科相談 ・成人歯科健診(歯科医院)	保健センター・ 予防歯科センター	2	A:歯周病健診(集団)受診者数(人) B:口腔がん検診、成人歯科健診受診率(%)	A:772 (内後期高齢者117人) B:5.10 (993人)	—	A:506 (内後期高齢者63人) B:5.75 (1111人)	○	継続	オーラルフレイル(お口の衰え)検診を新規に始めたことにより、後期高齢者の参加者が増加した。	オーラルフレイル事業の周知とハイリスクへのアプローチをどのように行っていくのが課題である。

第5章 歯と口の健康づくり

基本施策1 生涯を通じた歯科疾患の予防と歯と口の働きの維持・向上

【施策の推進方向】

- (1) 関係機関との連携により、ライフステージに応じた歯科保健事業に取り組み、「8020運動」の推進に努めます。
- (2) 「噛む・かむ・カミング 健康づくり ～ひとくち30回運動～」を推進するため、「よく噛み、じょうずに飲み込む力」の育成に取り組むことで、口腔機能の維持・向上を図り、生涯にわたる歯と口の健康づくりを推進します。
- (3) 歯周病を有する人を減少させることにより歯の喪失を防止するとともに、糖尿病等の全身疾患の重症化リスクの軽減等により全身の健康の保持・増進を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】 【自己評価】

1. 新規開始 ◎: 目標を上回った
2. 維持または継続 ○: 概ね目標通りだった
3. 増加またはさらに推進 △: 目標を下回った★
4. その他★ ×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
5	57	(1) (2)	歯と口の健康 週間事業	一生自分の歯でおいしく食べ、楽しく健康に生活するため、基本となる「歯と口の健康」について意識啓発となる事業や催しを行います。	保健センター・ 予防歯科センター	2	参加人数(人)	930	—	1,101	○	継続	—	—
6	57	(3)	「かかりつけ歯科医」 の推進 定期歯科健診・定期 歯石除去の啓発	歯と口に対する保健・医療・福祉を提供する「かかりつけ歯科医」を市民が持ち、定期的に歯科健診、歯石除去を受けるよう啓発に努めます。	保健センター・ 予防歯科センター	2	市民実感調査 (年1回以上健 診を受けてい る)(%)	48.98	—	52.50	○	継続	—	—

第5章 歯と口の健康づくり

基本施策2 支援が必要な人の健康づくり

【施策の推進方向】

- (1) 定期歯科健診等の推進により、歯科疾患を予防し、早期発見・早期治療を促すとともに、口腔機能の回復や維持・向上のための支援に取り組みます。
- (2) 高齢者の歯の喪失予防や口腔機能の低下を防止することで、8020健康長寿社会の実現を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始
2.維持または継続
3.増加またはさらに推進
4.その他★

- ◎：目標を上回った
○：概ね目標通りだった
△：目標を下回った★
×：今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

＜市の取り組み＞

記載順番	計画書本編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の担当課)	計画策定時の目標の方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実績値	計画策定時の目標値	前回 (R5)の数値				
1	59	(1) (2)	正しい知識の普及と啓発	口腔ケアの大切さや定期歯科健診の重要性などの啓発活動とともに、介護予防事業などで要介護になる前からの健康教室や嚥下体操など、歯と口や栄養に関する情報を発信します。	保健センター・予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	あらゆる場面で定期歯科健診、歯面清掃の重要性について啓発した。	ポピュレーションのみでなくハイリスクへのアプローチが必要と思われる。
		(2)			介護保険課	3	—	—	—	—	○	継続	介護予防教室にてリハビリ職と連携し、運動だけでなく、オーラルフレイルや栄養についての普及・啓発活動に努めた。	介護予防事業の取り組みとして、オーラルフレイルや栄養についての普及・啓発活動を引き続き実施する。
2	59	(1) (2)	通所歯科診療	一般の歯科医院では治療が困難な要介護高齢者や障がい者（児）の歯科診療を実施します（ふれあい歯科診療所）。	保健センター・予防歯科センター	2	受診者数（人）	要介護高齢者 695 障がい者 1008	—	要介護高齢者 672 障がい者 963	○	継続	—	—
3	59	(1) (2)	訪問歯科診療 訪問口腔ケア	訪問による歯科診療や口腔ケアについて、市歯科医師会立訪問歯科センターとふれあい歯科診療所との連携を図ります。	保健センター・予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	—	—
4	59	(1)	「かかりつけ歯科医」の推進 定期歯科健診・定期歯石除去の啓発【再掲】	歯と口に対する保健・医療・福祉を提供する「かかりつけ歯科医」を市民が持ち、定期的に歯科健診、歯石除去を受けるよう啓発に努めます。	保健センター・予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	—	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～川西市食育推進計画～

基本施策1 “食”からひろがる健やかな体と豊かな心づくり ～家庭や学校・保育所等における食生活と食文化の継承～

【施策の推進方向】

- (1) 基本的な生活習慣の形成への意識を高め、生涯にわたって切れ目なく、心身の健康の増進と豊かな人間性を育む基盤づくりを行います。
- (2) 生産者等と連携した学校給食での地場産物の一層の活用と家庭・地域と連携した食育活動を進めていきます。
- (3) 生活圏の拡大や行動の多様化等により生活リズムが乱れやすい環境にある若い世代に対して、食品や情報へのアクセス改善の工夫をしていきます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	64	(1)	健診や各種教室を通じた食育の啓発	健(検)診後の健康相談会や各種健康教育のほか、健やかな出産・発育を導くとともに、子どもの心と体を育む食生活や日常生活での健康的な食生活の営みについて啓発します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	食生活関連の 健康教育実施 者数[成人・母 子合計](人)	4,374	—	2,798	◎	継続	令和6年度は年度当初から乳幼児健診で集団指導を実施したため、年度途中から再開したR5年度と比べ数値に差がある。	—
2	64	(2)	保育所、幼稚園、認定こども園、学校における、収穫体験や農業体験の充実	田植えや稲刈り、芋ほりなどの農業体験など、栽培・収穫活動を実施します。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	小学校では、生活科や、総合的な時間の学習で体験している。就学前施設においても、敷地内の畑やプランター、地域にお世話になる等、工夫し取り組んでいる。	—
3	64	(1)	学校における食育の推進	市健幸まちづくり計画・市食育推進計画・と整合を図りながら、各学校において「食に関する指導の全体計画」を作成し、組織的・計画的に食育を実践します。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	食に関する指導の全体計画を作成し、それに基づき教育活動を行う。	—
					給食課	2	—	—	—	—	○	継続	食に関する指導の全体計画を作成し、計画に基づいた教育活動を進めている。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～川西市食育推進計画～

基本施策1 “食”からひろがる健やかな体と豊かな心づくり ～家庭や学校・保育所等における食生活と食文化の継承～

【施策の推進方向】

- (1) 基本的な生活習慣の形成への意識を高め、生涯にわたって切れ目なく、心身の健康の増進と豊かな人間性を育む基盤づくりを行います。
- (2) 生産者等と連携した学校給食での地場産物の一層の活用と家庭・地域と連携した食育活動を進めていきます。
- (3) 生活圏の拡大や行動の多様化等により生活リズムが乱れやすい環境にある若い世代に対して、食品や情報へのアクセス改善の工夫をしていきます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- | | |
|--------------|-------------|
| 1.新規開始 | ◎:目標を上回った |
| 2.維持または継続 | ○:概ね目標通りだった |
| 3.増加またはさらに推進 | △:目標を下回った★ |
| 4.その他★ | ×:今年度実施せず★ |

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載順番	計画書本編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の担当課)	計画策定時の目標の方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6年度の実績値	計画策定時の目標値	前回(R5)の数値				
4	64	(1)	保育所・認定こども園における食育の推進	市健幸まちづくり計画(第2次市食育推進計画)と整合を図った市立保育所・認定こども園食育ガイドラインを策定し、各保育所・認定こども園において組織的・計画的に食育を実践します。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	子どもの食への興味関心につながるように、発達に応じた計画をたて、教育保育活動を行う。	—
		(2)			給食課	2	—	—	—	—	○	継続	令和6年3月に改訂したガイドラインに基づいた保育活動を進めている。また、誤飲誤嚥事故防止の観点から使用食材の見直しを行った。	—
5	64	(2)	給食内容の充実	保育所・認定こども園や学校での給食を通じて、子どもの食への関心を深めます。また、子どもたちの誰もがより良い給食を食べることができるよう環境を整備します。食物アレルギーを有する子どもについても、各家庭における定期的なかかりつけ医の診断に基づきながら、保護者と担任と給食担当者らが連絡を密にし、健やかな成長や発達に支障が出ないよう努めます。	給食課	2	—	—	—	—	○	継続	物価高騰が継続しているが、概ね予定通りに給食を実施できた。アレルギー、その他疾患等の個別対応ケースについては家庭と各学校園所の栄養士や給食担当等が連携を取って進めている。	—
6	64	(2)	給食を通した子どもの豊かな心の育成	安定した人間関係と楽しい雰囲気の中で様々な食活動を体験し、豊かな心を育むとともに食事マナーの習得を図ります。	給食課	2	—	—	—	—	○	継続	(学校)食に関する指導の全体計画に基づき、給食指導を通してマナーの体得に努めた。(園所)ガイドラインに基づき、児童の年齢区分や献立等に応じて食器・食具を活用して食事のマナーを学んだ。	—
7	64	(2)	給食だより・献立表などによる啓発	給食だよりや献立表などを通じて、食の大切さや家族団らんの大切さ、栄養に関する情報提供等を行います。	給食課	2	—	—	—	—	○	継続	給食だよりや献立表の欄を通じて情報提供を行えた。	—

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～川西市食育推進計画～

基本施策1 “食”からひろがる健やかな体と豊かな心づくり ～家庭や学校・保育所等における食生活と食文化の継承～

【施策の推進方向】

- (1) 基本的な生活習慣の形成への意識を高め、生涯にわたって切れ目なく、心身の健康の増進と豊かな人間性を育む基盤づくりを行います。
- (2) 生産者等と連携した学校給食での地場産物の一層の活用と家庭・地域と連携した食育活動を進めていきます。
- (3) 生活圏の拡大や行動の多様化等により生活リズムが乱れやすい環境にある若い世代に対して、食品や情報へのアクセス改善の工夫をしていきます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
 ・継続
 ・拡充
 ・縮小★
 ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載順番	計画書本編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画作成時の担当課)	計画作成時の目標の方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6年度の実績値	計画作成時の目標値	前回(R5)の数値				
8	64	(1) (2)	子どもを対象とした講座・調理実習等の開催	子どもを対象とする食育の講座、家庭科や特別活動での調理実習や調理体験を実施し、子どもの食育への関心を高めます。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	教育活動の中で適宜行っている。	—
9	64	(1)	就学前児童に対する食育にかかわる情報の発信	保育所や認定こども園の子育て支援ルームなどを活用し、未就学児を対象とした食育にかかわる情報を発信します。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	子育て支援ルームなどにおいて、食育に関する冊子や掲示物などで情報発信を行った。	—
10	64	(3)	小児生活習慣病検診の実施	生活習慣病の予防及び早期発見のため、市医師会への委託により、小学4年生を対象に、生活習慣のアンケート調査と精密検査(血液検査、体脂肪・血圧測定等)、希望者に個別で食事や運動指導、講演会を行う「小児生活習慣病検診」を実施します。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	例年医師会と連携し、実施している。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～川西市食育推進計画～

基本施策2 “食”からひろがる地域のつながり ～地域における健全な食環境と循環～

【施策の推進方向】

- (1) 地産地消を知って、ふるさと川西を味わえる施策を進めます。
- (2) 環境と調和のとれた持続可能な消費行動に配慮した食育を推進します。
- (3) 事業者、消費者等の多様な主体が連携し、食品ロスの削減を推進します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始
- 2.維持または継続
- 3.増加またはさらに推進
- 4.その他★

- ◎:目標を上回った
○:概ね目標通りだった
△:目標を下回った★
×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載順番	計画書本編記載頁	施策の推進方向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の担当課)	計画策定時の目標の方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己評価	今後の方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取り組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6年度の実績値	計画策定時の目標値	前回(R5)の数値				
1	68	(2)	食の安全・安心に関する知識の普及と啓発	正しい知識に基づいて食材を選択できるよう、食の安全に関する知識の啓発や情報提供を行います。	教育保育課	2	—	—	—	—	○	継続	原則、国のガイドライン等に応じ、指導内容を検討して通知している。	—
		(2)			保健センター・予防歯科センター	2	かわにし食育フェア参加人数(人)	185	—	—	○	継続	令和6年度は隔年実施の食育フェアでSDGsをテーマに、食を通じて持続可能な社会の実現を考える啓発をした。他に、市ホームページやチラシを作成することで、食に関する知識の啓発や情報提供を行った。	—
2	68	(1)	地場産物の販売	農産物直売所を通して地場産野菜の販売を支援し、生産者の顔が見える地場産物直売所の販売促進を図ります。	産業振興課	2	直売所PRチラシ発行数(枚)	16	100	16	○	継続	令和5年度より市ホームページに掲載されている直売所掲載数を実績値とします。	「川西そだち」のぼりを地域の直売所や市内産農産物を扱う小売店に配布する。
3	68	(1)	特産品のPR	特産である「いちじく」、「もも」などの即売会の開催や、農産物直売所への支援を行います。	産業振興課	2	いちじく・ももの即売会等の来場者数(人)	918	1,100	520	○	継続	—	継続して、市広報誌や市ホームページにて周知を行っていく。
4	68	(1) (2)	苦情・相談受付	食品表示など、食に関する苦情・相談を受け付けます。	生活安全課(消費生活センター)	2	—	—	—	—	○	継続	健康食品に関する相談が増加傾向にある。	—
5	68	(1) (2)	給食における日本型食生活の充実	日本型食生活が実践できるようになるとともに、給食に地場産物の活用や旬の食材が提供できるよう、関係機関との連携を図ります。	給食課	2	「和食給食」の推進	—	—	—	○	継続	JAや青果業者と連携し、地場産物の活用、旬の食材の使用に努めた。	—
6	68	(2)	米飯給食の推進	平成22年(2010年)9月末からの完全米飯給食の取り組みを機に、給食を食べる子ども、給食を提供する職員も、食育のあり方を考え、さらなる発展をめざします。	給食課	2	残食率(主菜及び副菜)(%)	1.58	1.00	1.78	○	継続	(学校)計画策定時に給食を実施していた小学校での数値。	①中学校給食を含めた評価指標の見直し。 ②米飯給食を通じた食育の推進。

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～川西市食育推進計画～

基本施策2 “食”からひろがる地域のつながり ～地域における健全な食環境と循環～

【施策の推進方向】

- (1) 地産地消を知って、ふるさと川西を味わえる施策を進めます。
- (2) 環境と調和のとれた持続可能な消費行動に配慮した食育を推進します。
- (3) 事業者、消費者等の多様な主体が連携し、食品ロスの削減を推進します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
7	68	(2)	にぎわいの創出	より多くの市民が地域で交流することや商業の振興などを通じて、多様な食育の考え方の裾野をひろげていきます。	保健センター・ 予防歯科センター	2	広報誌「おとな も子ども食と 育つ」コーナー への参画部 署・団体数(団 体)	5	—	4	○	継続	市広報誌「食と育つ」の コラムにて、食育ビク グラムにテーマに基づ いた食育の推進を展開 した。地産地消や旬の 食材を使ったレシピを取り 上げた。	—
		(1) (2)			産業振興課	2	—	—	—	—	○	継続	かわにしまるまるマル シェを農産物直売支援 事業に付け替えた。	①「川西そだち」のぼり を地域の直売所や市内 産農産物を扱う小売店 に配布する。 ②農産物直売支援事業 を実施する。
8	68	(3)	こどもの居場所への 支援活動	こどもたちが安心して利用できる地域の居場所づくり及びこどもたちの健やかな成長を支えることを目的に、こども食堂及び学習支援の開設や運営を実施する団体等に対して、川西市社会福祉協議会と連携して補助金を交付します。(川西市社会福祉協議会が団体等へ支援する開設または運営に要した経費の一部を市が補助するしくみ)	こども政策課	2	補助団体数 (団体)	8	14 (各中 学校区 に1つ 以上)	8	○	拡充	令和5年度と補助団体 数はかわりないが、新 たにこども食堂を開設し た団体が2団体あったた め。	居場所を必要とするこど もに必要な情報が届くよ う広く周知を行っていく 必要がある。
9	68	(2)	ごみ減量に向けた 啓発	ごみ減量出前講座、ごみ減量チャレンジ・モニター 制度等を通じて、リデュース(発生抑制)やリユース (再使用)、リサイクル(再生利用)をひろげる啓発を 行います。	美化推進課	2	食べきりラリー 参加児童数 (人)	451	800	—	△	継続	令和4年度と比較し190 人減となった。(令和5年 度はリユースイベントの 企画・実施に重点を置 いたため実施せず)	参加していない園所へ 声をかけ、参加児童数 を増やす。
10	68	(3)	食品ロスの削減に 向けた取組の充実	「食べ残しゼロ運動」を推進するとともに、フードド ライヴ※活動等、民間事業者との連携を拡大し、食品 ロスの削減に取り組みます。	美化推進課	2	川西市食べ残 しゼロ運動協 力店舗数(店)	34	50	36	△	継続	登録店舗が閉店し2店 舗減となった。	食べ残しゼロ運動に協 力していただける店舗 に声をかけ、店舗数を 増やす。

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～川西市食育推進計画～

基本施策2 “食”からひろがる地域のつながり ～地域における健全な食環境と循環～

【施策の推進方向】

- (1) 地産地消を知って、ふるさと川西を味わえる施策を進めます。
- (2) 環境と調和のとれた持続可能な消費行動に配慮した食育を推進します。
- (3) 事業者、消費者等の多様な主体が連携し、食品ロスの削減を推進します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
11	68	(1)	災害など非常時の 備えへの啓発	今後も災害に備え、計画的な食糧等の備蓄を行うと ともに、家庭での食糧等の備蓄についても啓発を行 います。また、初期の避難所などでの食生活支援マ ニュアル等の定期的な見直しや検討を行います。	危機管理課	2	—	—	—	—	○	継続	—	①市地域防災計画に基 づき備蓄を継続的実 施。 ②市防災訓練を地域と 協働で行う。その際、避 難所開設訓練、炊き出 し訓練等で災害への備 えを実践。 ③市ホームページ、出 前講座、地域の防災訓 練などを通じて 備蓄の 必要性の周知。
		(1) (3)			保健センター・ 予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	「災害時における避難 所等の栄養・食生活支 援様式集」の作成・見直 しや、「災害時における 行政栄養士活動ガイド ライン」の活用等を県や 近隣市町と連携しなが ら適宜行っている。	—

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第6章 食育推進による健幸まちづくり ～川西市食育推進計画～

基本施策3 次世代へつながり、ひろがる食育の“輪” ～食育を育み 守り継ぐしくみ～

【施策の推進方向】

- (1) 食育に資する人材育成、ボランティア活動の充実を図ります。
- (2) 食に関する情報を得やすいネットワークづくりを進めます。
- (3) 家庭や地域における食育活動をひろげます。
- (4) 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育を推進します。

【計画作成時の目標の方向性】 【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
- 2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
- 3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
- 4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標＊設定できるもののみ記載			自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)	
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値					
1	71	(2)	地産地消に関する 情報提供	地場産農産物の販売所などの情報を収集し、ホーム ページや各種の広報媒体を利用しながら情報発 信を推進します。	産業振興課	2	直売所やマル シェ等の情報 についての ホームページ や広報への記 事掲載(掲載 数)	16	10	16	○	継続	HP直売所マップ登録件 数 (令和5年度より市ホーム ページに掲載されて いる直売所掲載数を実 績値とします。)	—
2	71	(1) (2)	食育に関する地域 の社会資源との連 携による推進	食育に関する社会資源と、引き続き連携を図り、家 庭や地域に食を通じた取組が浸透するよう支援を行 います。	保健センター・ 予防歯科センター	3	食育関連会議 や連絡会の開 催回数(回)	3	—	1	○	継続	健康づくり推進協議会1 回、かわにし食育フェア 担当者会議2回。	地域の社会資源と連携 し、市の食育施策の方 向性を継続して協議し ていく。
3	71	(3)	「食育月間」、「食育 の日」の普及と啓発	国の食育推進基本計画で定められた6月の「食育月 間」や毎月19日の「食育の日」、県で定められた 10月の「ひょうご食育月間」にあわせて、減塩や野菜 摂取などを勧め、また、家族や友人と一緒に楽しく 食事をとることなどを普及啓発します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	食育啓発媒体 の配布枚数 A:食育カレン ダー B:食育だより (枚)	A:2,900 B:0	—	A:3,450 B:2,000	○	継続	A:食育カレンダー 令和6年度:2,900枚 令和5年度:3,450枚 B:食育だより 令和5年度:2,000枚	健康づくり推進協議会 委員や庁内部署等を通 して市民に広く配布し た。今後も食育関連団 体や庁内部署と連携 し、幅広く啓発していく。
4	71	(4)	デジタル技術を活用 した食育啓発の推 進	デジタル化に対応した栄養・食生活の推進に努めま す。	保健センター・ 予防歯科センター	2	栄養・食生活 動画の累計再 生回数(回)	1,372	—	—	○	継続	離乳食動画2本(前期・ 後期)を市公式YouTube に公開している他、各種 教室のオンライン予約を 開始している。	—

第7章 健康を支える環境づくり

基本施策1 社会とのつながりの維持・向上

【施策の推進方向】

(1) 健康を支え、守るための地域づくりを進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始
- 2.維持または継続
- 3.増加またはさらに推進
- 4.その他★

- ◎:目標を上回った
○:概ね目標通りだった
△:目標を下回った★
×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	75	(1)	地域活動への参加 の促進	市民に地域での活動の重要性を知ってもらい、市民 が参加したくなるような活動をコミュニティ組織や自 治会が行えるよう支援します。	参画協働課	3	自治会やコ ミュニティの活 動に参加して いる市民の割 合(%)	37.2	50.0	32.5	△	継続	「参加している」と回答し た方は、昨年度より増 加したが、目標値には 届いておらず、継続した 取り組みが必要。	目標値には達成しな かったが、多くの市民が 自分ごととして地域活動 に積極的に参加できる ような取組を検討する必 要がある。

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第7章 健康を支える環境づくり

基本施策2 健康になれる環境づくり

【施策の推進方向】

(1) 人がまちに出かけたいよう支援します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

1.新規開始 ◎:目標を上回った
2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

<市の取り組み>

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	77	(1)	歩くことを基本とした 新たな取組	健康づくりのきっかけとして歩くことに対してポイント を付与する事業を実施し、運動の習慣化につなげま す。	保健・医療政策課 保健センター・ 予防歯科センター	3	健康ポイント 事業利用者数 (人)	3,363	—	—	◎	継続	健康ポイント事業を令和 7年1月より開始。スマ ホアプリを用い、歩くこ とで健康につながる取組 を40歳以上を対象に展 開していく。	—
2	77	(1)	きんたくん健幸体操	大学と提携して作製した「きんたくん健幸体操」をみ んなで行うことにより心身の健康づくり、地域とのふ れあい、仲間づくりを推進します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	きんたくん健 幸体操派遣依 頼(回)	2	—	14	△	継続	令和5年度で、総合体 育館での体操は終了。 今後は、リーダー派遣と 各リーダーが地域で活 動していく。	—
3	77	(1)	出前健幸測定会	出前健幸測定会を地域・コミュニティ組織等と協働 して行うことで自らの健康づくりへの気づきを促すと ともに、身近な地域での交流や健幸の仲間づくりを 推進します。	保健センター・ 予防歯科センター	2	実施回数(回)	4	—	3	○	継続	—	—
4	77	(1)	地域介護予防活動 支援事業	きんたくん健幸体操<転倒予防・いきいき百歳体操 編>による通いの場づくりを推進します。	介護保険課	3	通いの場の自 主グループ数 (グループ)	56	73	53	△	拡充	会場等の確保が障壁と なり、新規グループ立 ち上げが課題となってい る。市内の活動グルー プ一覧をチラシや市 ホームページにて周知 を図り、更なる活性化に 努めた。 また、リハビリ専門職と 連携し、「高齢者の保健 事業と介護予防の一体 的实施」におけるポピュ レーションアプローチを 実施した。	新規グループの立ち上 げ支援、既存グループ が活動継続できるため の体制強化の検討が必要である。 また、今後も「高齢者の 保健事業と介護予防の 一体的実施」におけるポ ピュレーションアプロ ーチとの連携の他、リハ ビリテーション専門職との 連携体制の強化に努め る。
5	77	(1)	健康遊具の設置	健康遊具を公園に設置し、気軽に健康づくりができ る機会を提供します。	公園緑地課	3	A:健康遊具が ある公園数 (箇所) B:健康遊具 の設置数(基)	A:66 B:128	—	A:66 B:128	△	継続	健康遊具の新設は無 し。	必要性に応じて健康遊 具の設置を進める。

第7章 健康を支える環境づくり

基本施策2 健康になれる環境づくり

【施策の推進方向】

(1) 人がまちに出かけたいよう支援します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始
- 2.維持または継続
- 3.増加またはさらに推進
- 4.その他★

- ◎:目標を上回った
○:概ね目標通りだった
△:目標を下回った★
×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記載 頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
6	77	(1)	公共交通網を維持するための支援	交通環境の向上を図るために、交通事業者・利用者・地域・行政等の各役割分担によるモビリティ・マネジメント※を推進し、公共交通の維持に努めます。 ※モビリティ・マネジメント:一人ひとりの移動(モビリティ)や、街や地域交通(モビリティ)などを、それぞれに関わる主体が、色々と工夫を重ねながら改善していく取り組み。	交通政策課	3	主に鉄道やバス等の公共交通機関を利用している市民の割合(%)	46.9	60.0	48.5	△	継続	目標値に達していないため。	令和4年度以降、モビリティ・マネジメントは継続して実施している。今後も公共交通網維持のためモビリティ・マネジメントを実施していく必要がある。
7	77	(1)	歩行者空間や自転車通行空間の整備	環境対策や健康への市民意識の高まりにあわせ、歩行者空間や自転車空間の整備を検討します。	道路整備課	1	14.1(km)	6.7	11.6	5.5	○	継続	令和11年に整備率100%を目指している。令和6年12月に本計画の見直しを行い、指標を変更した為、継続した取組をしていく。計画策定時の目標値の年平均値1.1(km)/年と比較し、概ね同じ値である為、自己評価は○とした。	—

第7章 健康を支える環境づくり

基本施策3 健康情報の提供体制の充実

【施策の推進方向】

- (1) 各世代のニーズに応じた情報提供の充実を図り、健康に関心の薄い人を含めたすべての市民に対して健康づくりの情報発信を行います。
- (2) 食に関する情報を得やすいネットワークづくりを進めます。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	78	(1) (2)	健康情報の提供	市広報誌やホームページをはじめとする様々な広報媒体による啓発及び健康情報の提供に努めます。	保健センター・ 予防歯科センター	3	—	—	—	—	○	継続	各種健康に関するホームページやリーフレットを作成し、面接や相談などで健康情報を提供した。	—
2	78	(1) (2) 【再掲】	デジタル技術を活用した食育活動の推進	デジタル化に対応した栄養・食生活の推進に努めます。	保健センター・ 予防歯科センター	2	栄養・食生活 動画の累計再 生回数(回)	1,372	—	—	○	継続	離乳食動画2本(前期・後期)を市公式YouTubeに公開している他、各種教室のオンライン予約を開始している。	—

第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり

基本施策1 救急医療体制の維持・充実

【施策の推進方向】

(1) 救急医療の充実について、兵庫県や近隣市との協力体制を強化し、広域的な医療体制の構築に努めます。

【計画作成時の目標の方向性】 【自己評価】

1. 新規開始
2. 維持または継続
3. 増加またはさらに推進
4. その他★

- ◎: 目標を上回った
○: 概ね目標通りだった
△: 目標を下回った★
×: 今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
- ・継続
- ・拡充
- ・縮小★
- ・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の実 績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	80	(1)	救急医療体制の整備	地域の中核的な医療機関である市立総合医療センターでの救急医療体制については、市民の安心と信頼を得られるよう、体制や連携の充実を引き続き図ります。	保健・医療政策課	2	市内救急応需率(%)	97.2	90.0以上	94.9	◎	継続	令和6年度の市内救急応需率は90%を超えており、良好な救急医療が提供できた。	—
2	80	(1)	2次救急医療の確保	「2次救急医療」については、市内及び阪神北圏域での病院群が輪番制を維持し連携を継続します。	保健・医療政策課	2	—	—	—	—	○	継続	令和6年度も「2次救急医療」について輪番制を維持した。	—
3	80	(1)	阪神北広域こども急病センター	夜間・休日での子どもの初期救急対応として、阪神北広域こども急病センターでの診療や電話による小児救急医療相談の周知を図ります。	保健・医療政策課	2	—	—	—	—	○	継続	市HPや広報誌、健康づくりBOOK等に掲載し周知した。	—
4	80	(1)	休日応急診療(内科)と休日歯科応急診療の実施	地域医療連携推進法人川西・猪名川地域ヘルスケアネットワークの一員である市医師会や市歯科医師会等の協力を得ながら、休日内科応急診療や休日歯科応急診療を実施します。	保健・医療政策課	2	休日内科応急診療件数(件)	827	—	852	○	継続	川西リハビリテーション病院が実施する休日内科診療へ補助金を交付し、支援した。	—
					保健センター・予防歯科センター	2	休日歯科応急診療件数(件)	208	—	200	○	拡充	—	休日歯科診療にお盆期間を拡充。
5	80	(1)	応急処置方法の教育・普及	市民が心肺蘇生法やAEDの操作などの応急手当を習得できるよう、市民救命士講習の受講を促進するなど、応急手当の普及啓発に取り組みます。	消防本部	2	市民救命士講習等の講習受講者数(人)	1,756	2,500	2,032	△	継続	ホームページでの広報や、市内事業所へのポスター配布等による広報を継続した。	左記の広報に加え、市民救命士講習等に対するニーズがあると考えられる市内事業所を訪問し、市民救命士講習等への参加を促す。

第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり

基本施策2 地域医療機関との連携・地域包括ケアシステムの構築

【施策の推進方向】

- (1) 保健・医療・福祉が連携し、健康増進や疾病予防、適正な医療を提供できる地域医療体制の充実をめざします。
- (2) 地域の中核病院として、市立総合医療センターでは、質の高い医療サービスを提供します。

【計画作成時の目標の方向性】 【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	82	(1)	かかりつけ医等の普及と定着	身近にかかりつけ医・歯科医・薬局を持つよう、関係機関と連携を図りながら市民への啓発を進めます。	保健・医療政策課	2	—	—	—	—	○	継続	医師会、薬剤師会が実施する市民の健康づくりを目的とした事業について、地域保健・医療推進事業補助金を交付し、支援した。	—
		(1)			保健センター・予防歯科センター	2	—	—	—	—	○	継続	健康づくりBOOKに掲載し周知した。	就労世代の受診率向上の対策が必要。
2	82	(1)	地域医療構想の推進	兵庫県地域医療構想による在宅医療の充実等について国・県と連携しながら施策の推進を図ります。	保健・医療政策課	2	—	—	—	—	○	継続	兵庫県地域医療構想による在宅医療の充実等について国・県と連携しながら施策の推進を図っている。	—
3	82	(1)	地域包括ケアシステムの推進	川西市・猪名川町在宅医療・介護連携支援センターの運営を支援することで、地域の医療・介護などの専門職の連携をサポートします。	介護保険課	2	在宅塾の開催数(回)	2	—	4	○	継続	「在宅塾」では、「人が生きるを支える」「在宅高齢者の食を考える～私たちにもできる食支援～」の2回、Web併用による開催を実施することでより専門職が参加しやすい研修を実施した。	引き続き、協議や研修を通して、専門的な知識の習得とネットワークの強化を図っていく。
		(1)			保健・医療政策課	2	—	—	—	—	○	継続	地域ケア協議会などを通じて地域の医療・介護などの専門職の連携への取り組みを図っている。	—

第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり

基本施策2 地域医療機関との連携・地域包括ケアシステムの構築

【施策の推進方向】

- (1) 保健・医療・福祉が連携し、健康増進や疾病予防、適正な医療を提供できる地域医療体制の充実をめざします。
- (2) 地域の中核病院として、市立総合医療センターでは、質の高い医療サービスを提供します。

【計画作成時の目標の方向性】 【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
4	82	(1)	つながりノート	市医師会等の協力を得て、在宅医療・介護連携ツール(つながりノート)をより多くの方が活用できるよう周知啓発に努めます。	介護保険課	3	つながりノート の利用者数 (人)	75	80	95	○	継続	つながりノートが、在宅医療・介護連携ツールとしてより多くの方が活用できるよう見直しを行い、令和7年3月に第5版として改訂を行った。	つながりノート利用者数は、施設入所などで利用中止になる人も多いことから目標を下回っているものの、令和6年度28人の新規利用者があったこともふまえ、今後も、医療・介護専門職への協力を得ながら、つながりノートの周知、普及に努め利用拡大を図る。
5	82	(1)	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築	精神病床における1年以上長期入院患者が地域で安心して暮らすために必要な支援を行うにあたり、保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、重層的な連携による支援体制の構築を進めます。	障害福祉課	1	—	—	—	—	○	継続	平成30年度より川西市障がい者自立支援協議会の専門部会「精神障がい者支援部会」を、保健、医療、福祉関係者による協議の場として位置づけ、長期入院精神障がい者の地域移行、地域で生活するために必要な支援等について取り組んでいる。	地域移行については、病院とも連携して行う方法を検討していく必要がある。

第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり

基本施策2 地域医療機関との連携・地域包括ケアシステムの構築

【施策の推進方向】

- (1) 保健・医療・福祉が連携し、健康増進や疾病予防、適正な医療を提供できる地域医療体制の充実をめざします。
- (2) 地域の中核病院として、市立総合医療センターでは、質の高い医療サービスを提供します。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
6	82	(1)	医療的ケア児に対する支援体制の充実	医療的ケアを要する障がい児が適切な支援を受けられるよう、障がい者自立支援協議会や医療的ケア児運営協議会を通じ、保健・医療・障がい福祉・保育・教育・福祉等の関係機関等が連携を図り、支援体制の充実を図ります。	インクルーシブ推進課	1	—	—	—	—	○	継続	令和4年度より川西市医療的ケア運営協議会を設置し、学校園における医療的ケアの実施体制の整備、医療的ケア児の状況報告、インシデント及びアクシデントの事例、ガイドラインの内容、実施上の課題に関することについての協議を行っている。2回開催した。	近年、常時医療的ケアを必要とする児童生徒が増加傾向にあり、対応する看護師の確保と適切な配置割合の見直しが課題である。
		(1)			こども支援課	1	—	—	—	—	○	継続	平成30年度より川西市障がい者自立支援協議会の専門部会「こども支援部会」を保健・医療・障がい福祉・保育・教育等関係機関との連携を図る協議の場として位置づけ、医療的ケアを必要とする障がい児への支援のあり方等について取り組んでいる。4回開催した。	令和6年度に「川西市医療的ケア児実態把握調査」を実施した。本調査から地域課題を抽出し、次年度に協議を行っていく。
7	82	(1)	病診・病病連携	かかりつけ医等の活動を軸として、市民への適切な医療の提供と医療資源の有効活用を図るための「病診」及び「病病」連携への取り組みを支援していきます。	保健・医療政策課	2	—	—	—	—	○	継続	地域ケア協議会などを通じて「病診」及び「病病」連携への取り組みを図っている。	—
8	82	(1) (2)	中核的医療機関の整備	市立総合医療センターでは、市民の医療ニーズに的確に対応し、患者の立場に立った医療を行うとともに、質の高い医療サービスの提供に取り組みます。	保健・医療政策課	2	1日当たり入院患者数(人)	371.4	370.0	374.8	◎	継続	令和4年9月にセラ川西地区に市立総合医療センターが開院し、質の高い医療サービスを提供している。	—

第8章 安心して暮らせる救急・医療の体制づくり

基本施策3 災害時の医療体制の確保と感染症の発生に備えた医療体制の確保

【施策の推進方向】

- (1) 災害医療の充実について、兵庫県に働きかけるとともに、近隣市との協力体制を強化し、広域的な医療体制の構築に努めます。
- (2) 新興感染症等の感染拡大期における医療体制の確保を図ります。

【計画作成時の目標の方向性】【自己評価】

- 1.新規開始 ◎:目標を上回った
2.維持または継続 ○:概ね目標通りだった
3.増加またはさらに推進 △:目標を下回った★
4.その他★ ×:今年度実施せず★

【今後の方向性】

- ・新規
・継続
・拡充
・縮小★
・廃止★

＜市の取り組み＞

記載 順番	計画 書本 編記 載頁	施策 の推 進方 向	施策名	内容	担当課 (計画策定時の 担当課)	計画策 定時の 目標の 方向性	評価参考指標 * 設定できるもののみ記載				自己 評価	今後の 方向性	備考	今後の課題 (必要と思われる新たな視点・取 組みなど)
							評価参考指標 (単位)	令和6 年度の 実績値	計画策 定時の 目標値	前回 (R5)の 数値				
1	85	(2)	新興感染症等の感 染拡大期における医 療体制の確保	実際に発生する新興感染症等については事前に予測することが困難であり、新型コロナウイルス感染症のように県から感染者受け入れ要請等があった場合、市立総合医療センターは公立病院として、速やかに適切な対応がとれるよう予め準備を進めます。	保健・医療政策課	3	—	—	—	—	○	継続	市立総合医療センターの特性である全室個室を活かし、感染症に速やかに適切な対応ができるよう準備を整えている。	—
2	85	(1)	関係医療機関・市民 自主防災組織との 連携	関係機関や自主防災組織などとの連携により、医療業務や医薬品の供給、救護所の開設など、災害時の救急医療体制が一層実効あるものとなるよう、その充実に努めます。	危機管理課	2	—	—	—	—	○	継続	地域の自主防災組織に対する出前講座や訓練により防災意識の向上と連携を図った。	今年も救急医療体制等の見直しに伴い、市地域防災計画を修正する。
3	85	(2)	新型インフルエンザ 等対策	「新型インフルエンザ等対策特別措置法」や、国や兵庫県の行動計画に基づき策定した本市の行動計画について、訓練等の実施や既存のマニュアルの見直しを行いながら、実効性のあるものとしていきます。 国からの「新型インフルエンザ等緊急事態宣言」が発出された場合は、本市行動計画に基づき、市民及び事業者への適切な方法による情報提供、市民に対する予防接種の実施及びまん延の防止、生活環境の保全やその他の市民の生活及び地域経済の安定など、関係機関と連携し、対策を的確かつ迅速に推進します。	危機管理課	2	—	—	—	—	○	継続	—	今後も国・県の行動計画を踏まえた上で、本市の行動計画について、内容の拡充に努めます。

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第2次川西市健幸まちづくり計画掲載目標

No.	分野	計画掲載頁	指 標		方向性	計画策定時 (R4実績)	実績値 (R6実績)	目標値 (R13年)	現状と課題	目標値の達成に向けた取組	担当課	指標の出典	
1	栄養・食生活	28	①食事をすることが楽しいと思う市民の割合		↗	59.9%	56.4%	70%	ライフスタイルの変化による食への関心の多様化などが減少の要因として挙げられる。	関係機関と連携し、対象年齢に合わせた健康教育や幅広い世代を対象とした食に関する情報発信を充実させる。	保健センター・予防歯科センター	市民実感調査 総計指標	
2		28	②適正体重を維持している市民の増加 (肥満: BMI25以上、やせ: BMI18.5未満)	20～60歳代男性の肥満者	↘	28.8%	—	20%	—	適正体重の理解促進について、講話や媒体等を通じ啓発する。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査	
3		28		40～60歳代女性の肥満者	↘	14.7%	—	10%	—	適正体重の理解促進について、講話や媒体等を通じ啓発する。	保健センター・予防歯科センター	※令和4年実績値は、20～64歳男性肥満者、40～64歳女性肥満者	
4		28		20歳代女性のやせの者	↘	23.3%	—	15%	—	適正体重の理解促進について、講話や媒体等を通じ啓発する。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査	
5		28	③朝食を食べない市民の割合	20～30歳代	↘	14.7%	—	10%	—	朝食の重要性について、講話や媒体等を通じ啓発する。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査	
6	身体活動・運動	30	①意識的に運動を心がけている市民の割合 (1日30分以上の運動を週2回以上実施または心がけている市民の割合)		男性	↗	68.9%	—	75%	—	健康ポイント事業、きんたくん健幸体操、出前健幸測定会を通じ、運動することのきっかけ作りの場を提供する。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
7		30			女性	↗	62.2%	—	70%	—	健康ポイント事業、きんたくん健幸体操、出前健幸測定会を通じ、運動することのきっかけ作りの場を提供する。	保健センター・予防歯科センター	
8		30	②運動習慣者の割合 (1回30分以上の運動を週2回以上実施または心がけ、1年以上続けている市民の割合)		男性	↗	59.1%	—	65%	—	健康ポイント事業、きんたくん健幸体操、出前健幸測定会を通じ、運動習慣の定着を図る。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
9		30			女性	↗	51.2%	—	55%	—	健康ポイント事業、きんたくん健康体操、出前健幸測定会を通じ、運動習慣の定着を図る。	保健センター・予防歯科センター	
10	休養・心の健康	33	①ストレスを感じた市民の割合 (ストレスを「毎日感じた」「時々感じた」市民の割合)		↘	68.8%	—	60%	ストレス軽減につながるよう、睡眠の確保等についての正しい知識の普及啓発の必要あり。	ストレス軽減につながるよう、睡眠の確保等についての正しい知識の普及啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査	
11		33	②睡眠による休養がとれていない市民の割合 (睡眠による休養が十分に「とれていないときがしばしばある」「いつもとれていない」市民の割合)		↘	20.4%	—	19%			保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査	
12		33	③睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使うことがある市民の割合 (睡眠を助けるために、薬やアルコールを使うことが「時々ある」「しばしばある」「常にある」市民の割合)		↘	22.9%	—	19%			保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査	

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第2次川西市健幸まちづくり計画掲載目標

No.	分野	計画掲載頁	指 標		方向性	計画策定時 (R4実績)	実績値 (R6実績)	目標値 (R13年)	現状と課題	目標値の達成に向けた取組	担当課	指標の出典
13	たばこ	36	①喫煙が及ぼす健康への影響について知っている市民の割合	呼吸器系(肺がん・喘息・気管支炎)	↗	90.4%	—	100%	—	引き続き、喫煙が及ぼす影響等についての知識の普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
14		36		循環器系(心臓病・脳卒中)	↗	58.5%	—	80%			保健センター・予防歯科センター	
15		36		消化器系(胃潰瘍)	↗	27.5%	—	50%			保健センター・予防歯科センター	
16		36		妊娠(妊娠に関連した異常)	↗	58.0%	—	100%	—	引き続き、普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	
17		36		口の病気(歯周病・口腔がん)	↗	45.2%	—	50%	—	引き続き、普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	
18		36	②成人の喫煙率		↘	8.9%	—	8%	喫煙が及ぼす影響等についての知識の普及・啓発の必要あり。	引き続き、普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
19		36	③妊娠中の喫煙率		↘	1.7%	—	0%	—	目標値に近づいた。今後も引き続き、普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査
20	アルコール	38	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している市民の割合 (1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人)	男性	↘	15.9%	—	13%	「節度ある適度な飲酒」に関連する知識の普及・啓発の必要あり。	引き続き、「節度ある適度な飲酒」に関連する知識の普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
21		38		女性	↘	8.6%	—	6%			保健センター・予防歯科センター	
22		38	②節度ある適度な飲酒について知っている市民の割合 (1日平均純アルコールで約20g) (目安は、清酒180ml、ビール中瓶1本500ml)	男性	↗	65.0%	—	75%			保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
23		38		女性	↗	60.8%	—	70%			保健センター・予防歯科センター	
24		38	③妊娠中の飲酒率		↘	2.6%	—	0%	—	引き続き、普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査
25		41	①健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合		↗	72.6%	76.3%	80%	目標値に近づいた。	引き続き、健康づくりに関する正しい知識の普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	市民実感調査 総計指標

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第2次川西市健幸まちづくり計画掲載目標

No.	分野	計画掲載頁	指 標			方向性	計画策定時 (R4実績)	実績値 (R6実績)	目標値 (R13年)	現状と課題	目標値の達成に向けた取組	担当課	指標の出典
26	健康診査・各種検診・健康管理	41	胃がん検診	男性	↗	52.0%	23.2%	60%	無関心層へ健(検)診の必要を訴えるため、これまでと違う新たな視点での取り組みが必要。	検診未受診者層のアプローチ方法の検討や、個別検診とも連携して受診率向上に努める。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査 ※実績値は市民実感調査	
27		41		女性	↗	35.1%					60%		保健センター・予防歯科センター
28		41	肺がん検診	男性	↗	48.9%	19.4%	60%			保健センター・予防歯科センター		対象者 子宮頸がんのみ20歳以上対象 その外は、40歳以上を対象
29		41		女性	↗	40.9%					60%		
30		41	大腸がん検診	男性	↗	50.2%	24.1%	60%			保健センター・予防歯科センター		
31		41		女性	↗	42.7%					60%		
32		41	子宮頸がん検診	女性	↗	40.9%	18.5%	60%			保健センター・予防歯科センター		
33		41	乳がん検診	女性	↗	39.2%	15.1%	60%			保健センター・予防歯科センター		
34		41	③LDLコレステロール値が基準値(120mg/dl)を超える市民(国民健康保険加入者)の割合【参考】			↘	56.4%	54.4%			52%		—
35	41	④血圧が基準値(130mmHg)を超える市民(国民健康保険加入者)の割合【参考】			↘	47.8%	45.3%	44%	—	—	国民健康保険課	川西市国民健康保険第・期データヘルス計画	
36		45	①乳幼児健康診査受診率(健診後の状況把握者含む)			↗	99.9%	99.9%	100%	—	健診未受診者へ勧奨し、受診率向上に努める。	保健センター・予防歯科センター	乳幼児健康診査等実績
37		45	②MR(麻しん・風しん)第1期の予防接種を終了している人の割合			↗	93.3%	89.5%	100%	前年度より接種率が低下しているがMRワクチンの偏在等の影響が考えられる。	引き続き普及啓発を行い、接種率の向上に努める。	保健センター・予防歯科センター	予防接種事業実績
38		45	③妊娠から出産、及び産後の保健・医療サービスについて満足している親の割合			↗	86.1%	86.3%	90%	—	引き続き、目標値に近づけるよう努める。	保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査
39		45	④かかりつけの小児科医(医師)を持っている親の割合	1歳6か月児健診時点		↗	83.0%	—	100%	—	引き続き、周知・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査
40		45		3歳児健診時点		↗	92.8%	—		—	引き続き、周知・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第2次川西市健幸まちづくり計画掲載目標

No.	分野	計画掲載頁	指 標	方向性	計画策定時 (R4実績)	実績値 (R6実績)	目標値 (R13年)	現状と課題	目標値の達成に向けた取組	担当課	指標の出典			
41	親と子の健康 (母子保健)	45	⑤事故防止対策を実施している親の割合	1歳6か月児健診時点	↗	86.8%	—	—	引き続き、周知・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査			
42		45		3歳児健診時点	↗	87.0%		—	—	引き続き、周知・啓発に努める。		保健センター・予防歯科センター		
43		45	⑥子育てに自信が持てない親の割合	1歳6か月児健診時点	↘	34.0%	—	—	保護者の子育てにおける不安や負担感を解消するために、保健や福祉、教育の分野と相互に連携して保護者に寄り添った支援を横断的に切れ目なく支援を提供する。	保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査			
44		45		3歳児健診時点	↘	42.0%				—		保健センター・予防歯科センター		
45		45	⑦子どもを虐待していると思う親の割合	1歳6か月児健診時点	↘	5.7%	—			保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査			
46		45		3歳児健診時点	↘	5.8%				—		保健センター・予防歯科センター		
47		45	⑧ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親の割合	1歳6か月児健診時点	↗	90.6%	—			保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査			
48		45		3歳児健診時点	↗	79.7%				—		保健センター・予防歯科センター		
49		45	⑨育児について相談相手のいる親の割合	1歳6か月児健診時点	↗	88.7%	—			保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査			
50		45		3歳児健診時点	↗	92.8%				—		保健センター・予防歯科センター		
51		45	⑩妊娠中の喫煙率【再掲】		↘	1.7%	—			0%	—	目標値に近づいた。今後も引き続き、普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査
52		45	⑪妊娠中の飲酒率【再掲】		↘	2.6%	—			0%	—	引き続き、普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	親子の健康づくりについてのアンケート調査
53	学童・学校保健等の健康	48	①健康診断結果(眼科・耳鼻科・歯科)をもとに行った受診勧告を受けて、病院受診した割合(小学校・特別支援学校小学部)		↗	55.5%	52.6%			65%	令和5年度よりも受診の割合が増加している。	引き続き保護者に情報提供を行い受診率の向上に努める。	教育保育課	教育保育課
54		48	②健康診断結果(眼科・耳鼻科・歯科)をもとに行った受診勧告を受けて、病院受診した割合(中学校・特別支援学校中学部)		↗	32.7%	34.1%			40%	令和5年度よりも受診の割合が増加している。	引き続き保護者に情報提供を行い受診率の向上に努める。	教育保育課	教育保育課
55	青壮	51	①「フレイル」の言葉も意味も知っている市民の割合		↗	36.2%	—	50%	「フレイル」に関連する知識の普及・啓発をおこなう必要がある。	引き続き、「フレイル」に関連する知識の普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査		

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第2次川西市健幸まちづくり計画掲載目標

No.	分野	計画掲載頁	指 標	方向性	計画策定時 (R4実績)	実績値 (R6実績)	目標値 (R13年)	現状と課題	目標値の達成に向けた取組	担当課	指標の出典
56	年 期・ 高 齢 期 の 健 康	51	②「オーラルフレイル」の言葉も意味も知っている市民の割合	↗	23.2%	—	40%	「オーラルフレイル」に関連する知識の普及・啓発をおこなう必要がある。	引き続き、「オーラルフレイル」に関連する知識の普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
57		51	③低栄養傾向の高齢者の割合 (BMI20以下の高齢者(65歳以上)の割合)	↘	21.9%	—	13%	「低栄養」に関連する知識の普及・啓発をおこなう必要がある。	引き続き、「低栄養」に関連する知識の普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
58		51	④健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合【再掲】	↗	72.6%	76.3%	80%	目標値に近づいた。	引き続き、健康づくりに関する正しい知識の普及・啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	市民実感調査 総計指標
59	生 涯 を 通 じ た 歯 科 疾 患 の 予 防 と 歯 と 口 の 動 き の 維 持・ 向 上	57	①むし歯のない3歳児の割合	↗	92.4%	94.2%	95%	3歳までにむし歯予防の啓発に努める。	引き続き3歳までにむし歯予防に関する啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	歯科健診
60		57	②4本以上のむし歯を有する3歳児の割合	↘	1.5%	1.4%	0%	ハイリスクの保護者へむし歯予防に関する知識の普及に努める。	引き続き3歳までにむし歯予防に関する啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	歯科健診
61		57	③40歳以上で進行した歯周病を有する市民の割合	↘	10.0%	10.8%	8%	歯周病は自覚症状に乏しいため積極的な予防の啓発が必要になる。	引き続き歯周病とむし歯の予防啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	歯科健診
62		57	④50歳以上でよく噛んで食べることができる市民の割合	↗	65.4%	71.3%	80%	むし歯と歯周病の2大疾病の予防啓発が必要になる。	引き続き歯周病予防の啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	歯科健診
63		57	⑤80歳で20歯以上の自分の歯を有する市民の割合	↗	79.6%	73.6%	85%	むし歯と歯周病の2大疾病の予防啓発が必要である。	引き続き歯周病予防の啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	歯科健診
64		57	⑥定期的に(年1回以上)歯科健診を受けている市民の割合	↗	50.4%	53.1%	95%	就労世帯の受診率を上げる対策が必要である。	成人無料歯科健診の活用を促すために周知啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	市民実感調査
65		57	⑦かかりつけ歯科医を持っている市民の割合	↗	75.1%	76.6%	80%	定期健診と健康の関係を周知する必要がある。	成人無料歯科健診の活用を促すために周知啓発に努める。	保健センター・予防歯科センター	市民実感調査
66	『食』からひろがる健やかな体と	65	①「食育」の言葉も意味も知っている市民の割合	↗	59.9%	—	85%	—	食に関するイベントや媒体を通じて食育の周知や推進を図る。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
67		65	②自分は「健康だ」「どちらかというと健康だ」と感じている市民の割合	↗	73.0%	73.4%	90%	外出、交流、社会参加の気運が高まっているが、増加までには至っていない。	健康ポイント事業を社会参加と連動して取り組みを進めるとともに、健康に関する正しい知識の普及・啓発を図っていく。	保健センター・予防歯科センター	市民実感調査
68		65	③朝食を食べない市民の割合	↘	14.7%	—	10%	20～30歳代	朝食の重要性について、講話や媒体等を通じ啓発する。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
69		65	④「主食」、「主菜」、「副菜」を組み合わせた食事を1日2回以上ほとんど毎日食べている市民の割合	↗	65.4%	—	75%	—	バランスの良い食生活の理解促進について、講話や媒体等を通じ啓発する。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

資料 1

第2次川西市健幸まちづくり計画掲載目標

No.	分野	計画掲載頁	指 標	方向性	計画策定時 (R4実績)	実績値 (R6実績)	目標値 (R13年)	現状と課題	目標値の達成に向けた取組	担当課	指標の出典
70	豊かな心づくり	65	⑤毎日の食事で、「量やカロリー」を気にする市民の割合	↗	72.2%	—	90%	—	適量摂取の目安の理解促進について、講話や媒体等を通じ啓発する。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
71		65	⑥食事中、よく噛んで食べることを意識している市民の割合	↗	41.1%	—	60%	—	よく噛んで食べることの効果や実践の工夫について、講話や媒体等を通じ啓発する。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
72	『食』からひろがる地域のつながり	69	①川西や近隣で栽培された野菜（地場産野菜）を「よく買う」「ときどき買う」市民の割合	↗	72.2%	—	90%	—	農政部局と連携、また市広報誌などでの啓発媒体を通じて、地場産物の認知や活用法について啓発する。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
73		69	②持続可能な食を支える食育活動のうち、関心がある市民や実践している市民の割合	↗	45.8%	—	すべての項目について上昇	—	食に関するイベントや市広報誌等の啓発媒体を通じて、持続可能な食を支える食育活動の周知や推進を図る。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査
74		69		↗	17.3%	—		—	食に関するイベントや市広報誌等の啓発媒体を通じて、持続可能な食を支える食育活動の周知や推進を図る。	保健センター・予防歯科センター	
75		69		↗	52.9%	—		—	食に関するイベントや市広報誌等の啓発媒体を通じて、持続可能な食を支える食育活動の周知や推進を図る。	保健センター・予防歯科センター	
76		69		↗	18.1%	—		—	食に関するイベントや市広報誌等の啓発媒体を通じて、持続可能な食を支える食育活動の周知や推進を図る。	保健センター・予防歯科センター	
77		69		↗	36.2%	—		—	食に関するイベントや市広報誌等の啓発媒体を通じて、持続可能な食を支える食育活動の周知や推進を図る。	保健センター・予防歯科センター	
78		69		↗	13.0%	—		—	食に関するイベントや市広報誌等の啓発媒体を通じて、持続可能な食を支える食育活動の周知や推進を図る。	保健センター・予防歯科センター	
79		69		↗	62.6%	—		—	食に関するイベントや市広報誌等の啓発媒体を通じて、持続可能な食を支える食育活動の周知や推進を図る。	保健センター・予防歯科センター	
80	次世代へつなげる食	71	①食に関する作法で、「いただきます」「ごちそうさま」を言う市民の割合	↗	68.1%	—	85%	—	親や子を対象とした教室の場等で、食に関する礼儀や作法についての理解を促す。	保健センター・予防歯科センター	健康づくりについてのアンケート調査

第2次川西市健幸まちづくり計画進捗状況（令和6年度実績）

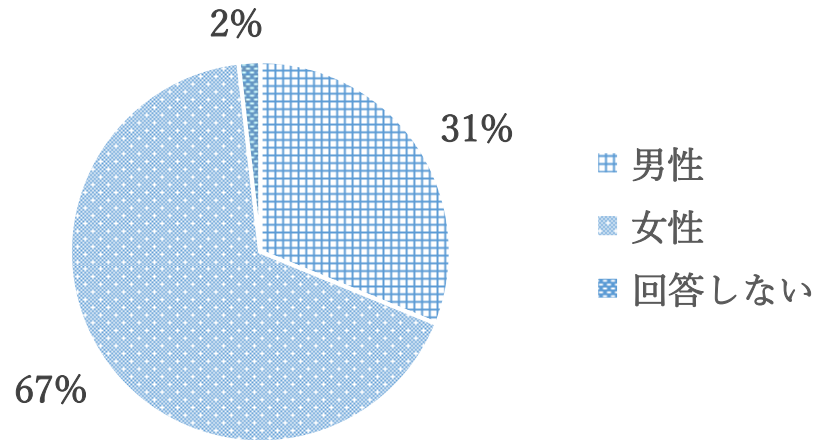
資料 1

第2次川西市健幸まちづくり計画掲載目標

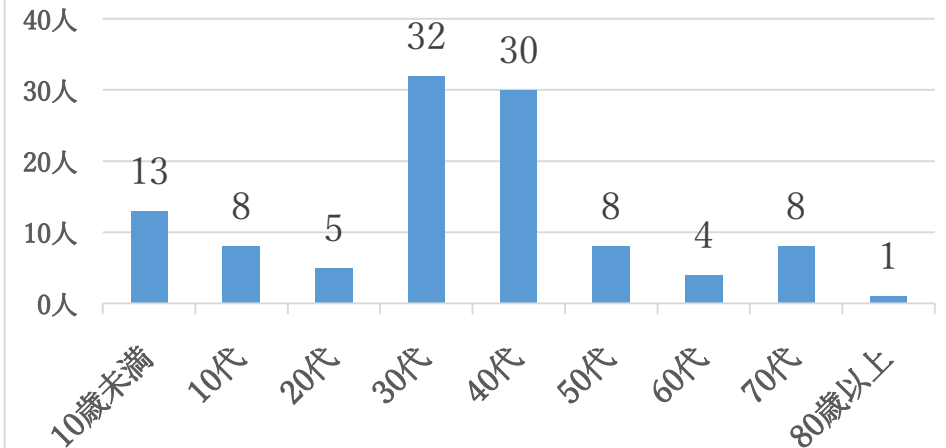
No.	分野	計画掲載頁	指 標	方向性	計画策定時 (R4実績)	実績値 (R6実績)	目標値 (R13年)	現状と課題	目標値の達成に向けた取組	担当課	指標の出典
81	つな 育の『輪』、ひ	71	②食事をすることが楽しいと思う市民の割合【再掲】	↗	59.9%	56.4%	70%	ライフスタイルの多様化による食への関心の多様化などが減少の要因として挙げられる。	関係機関と連携し、対象年齢に合わせた健康教育や幅広い世代を対象とした食に関する情報発信を充実させる。	保健センター・予防歯科センター	市民実感調査 総計指標
82	リ社 の維 持・ つ 向 上 が	75	①自治会やコミュニティ、地域でのボランティアの活動に参加している市民の割合	↗	33.8%	37.2%	50%	目標値には達成しなかったが、多くの市民が自分ごととして地域活動に積極的に参加できるような取組を検討する必要がある。	今後も継続的な参加を促す仕組みと共に、新たに活動に関心を持ってもらうきっかけ作りや参加しやすい環境を検討する。	参画協働課	市民実感調査
83	地 域 包 括 医 療 ア 期 間 ス テ ム の 連 携 ・ 構 築 地 域	83	①市内の医療環境に満足している市民の割合	↗	54.9%	60.0%	65%	—	—	保健・医療政策課	市民実感調査 総計指標
84		83	②かかりつけ医を持っている市民の割合	↗	68.6%	66.0%	80%	—	健康BOOKなどで、かかりつけ医を持つことを呼びかけている。	保健・医療政策課	市民実感調査
85		83	③かかりつけ歯科医を持っている市民の割合【再掲】	↗	75.1%	76.6%	80%	—	健康BOOKなどで、かかりつけ歯科医を持つことを呼びかけている。	保健・医療政策課	市民実感調査
86		83	④かかりつけ薬局を持っている市民の割合	↗	58.2%	51.2%	65%	—	健康BOOKなどで、かかりつけ薬局を持つことを呼びかけている。	保健・医療政策課	市民実感調査

かわにし食育フェア 2024 アンケート集計（実施日令和：6 年 12 月 15 日（日））

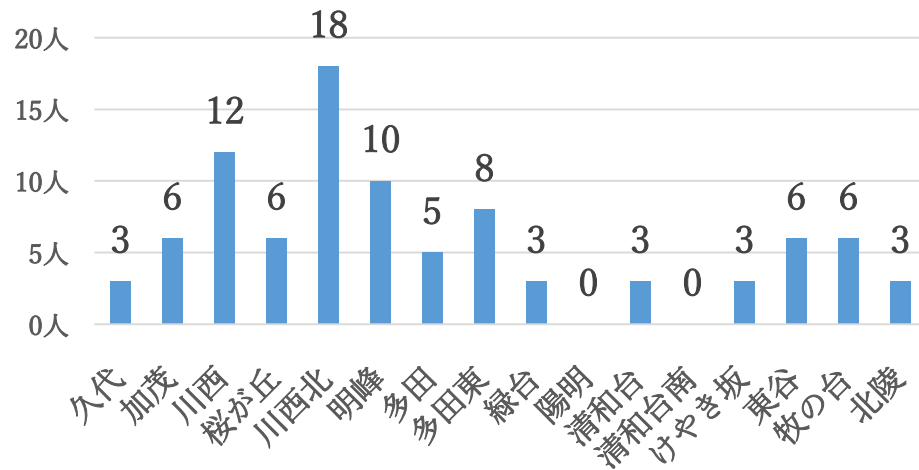
1.参加者の性別（回答数109人）



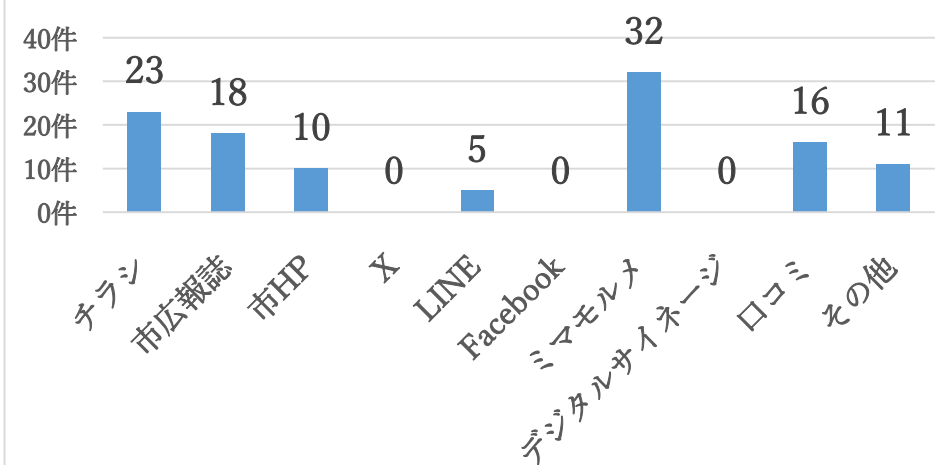
2.参加者の年齢層（回答数109人）



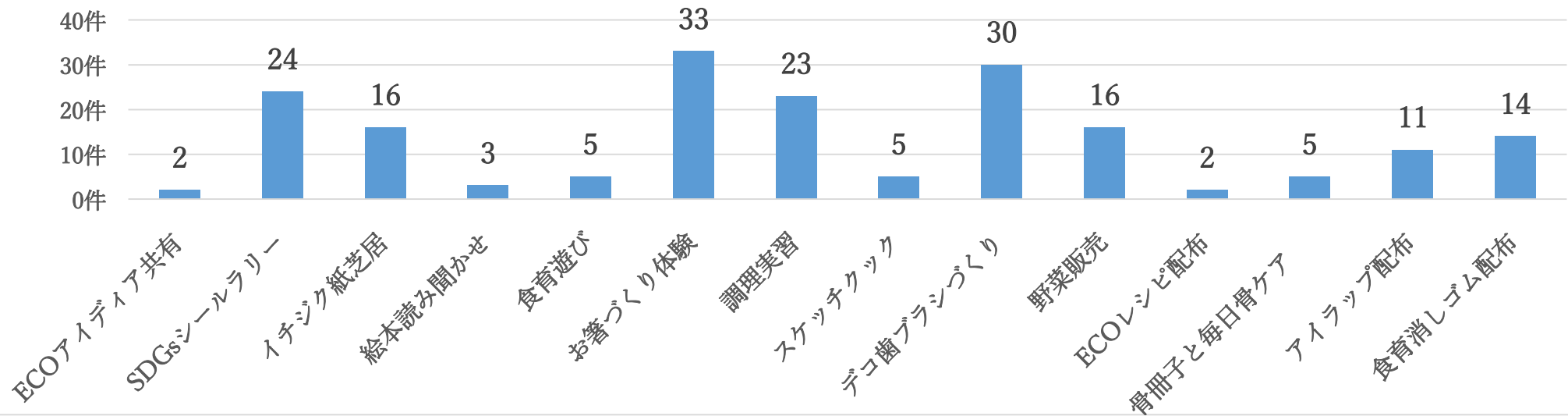
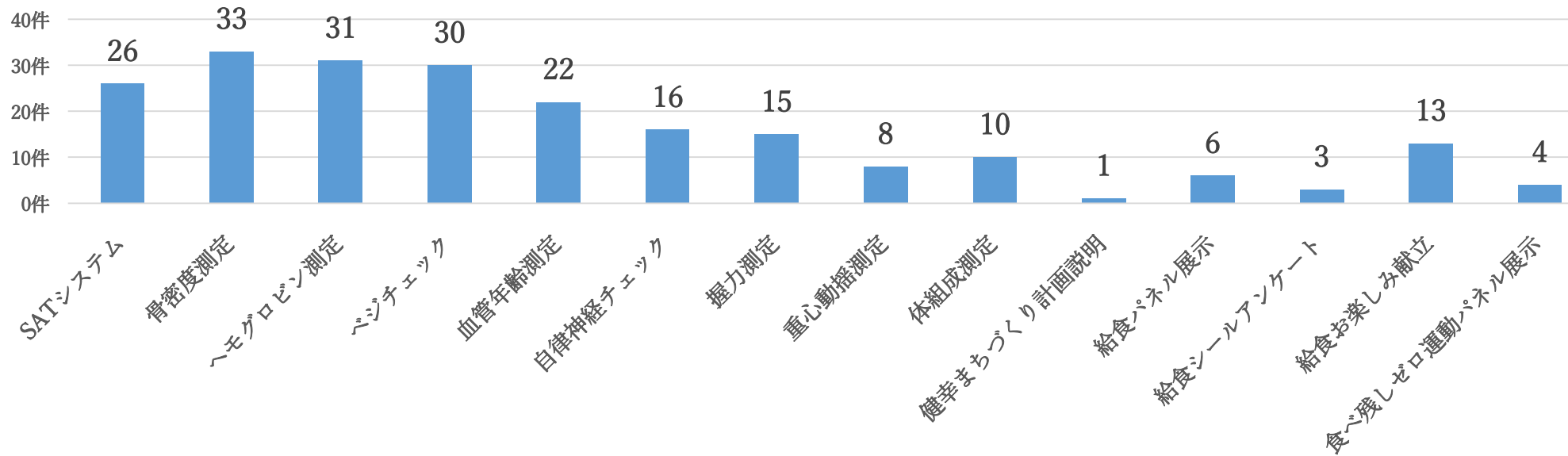
3.住まい（小学校区別）（回答数92人）



4.参加のきっかけ（回答数115件）



5.楽しかったイベント（回答数407件）

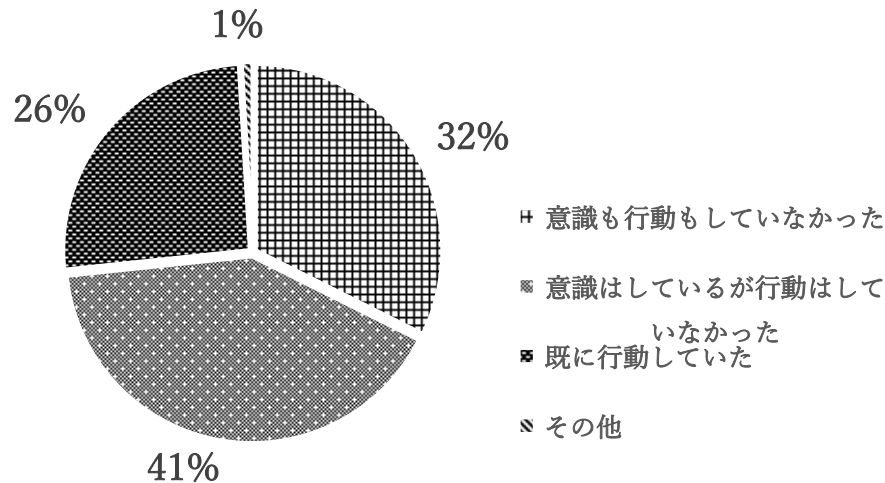


6 イベントの感想（記述式）

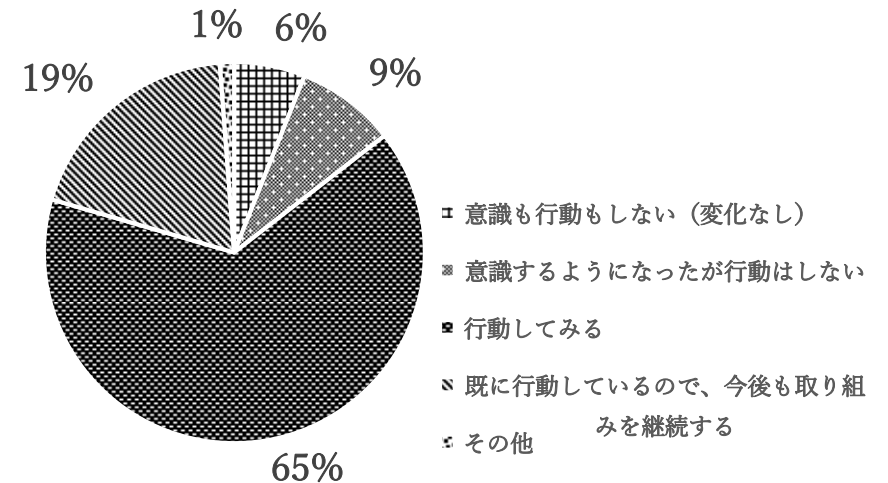
（好評）楽しかった/勉強になった/体験型イベントが楽しかった/有料イベントも参加しやすい価格だった/大人も子どもも楽しめる内容があった/学生と接することができた/食や健康について考えるきっかけになった/野菜が安く買えた/調理実習ができてよかった 等

（課題）イベントの事前案内を充実して欲しかった/看板が1階エレベータホール前に欲しかった/受付の場所がわかりにくかった/場内MAPが複数欲しかった/訳あり野菜を買える場所を増やして欲しい 等

7.SDGsに対する「事前」意識（回答数105人）



8.SDGsに対する「事後」意識（回答数83人）



9 SDGs に向けた食行動の具体例（記述式）

必要以上に買い過ぎない/買った物を使い切る工夫をする/作りすぎない/食べ残しをしない/すぐ食べるものは見切り品を積極的に購入する/安価でなくても農家が生き残れるような商品を購入する/コンポストで肥料を作り生ゴミを再利用する/海などにゴミを出さないように国に厳しくいう/地場産品を買う/ゴミを出さない生活をする/自給自足を心がける/ごはんは食べられるだけ注いで完食する/マイバックを持参する/ゴミ減量を心がける/リサイクル/ゴミの分別をする/子どもたちへの意識付け・食育 など

10.健幸まちづくり計画を知っていますか（回答数80人）



11.次回取り上げて欲しいテーマ（記述式）

食の防災/防災食の展示/保存食や非常食/こども向けのクッキング/家庭菜園/ロスを減らすこと/牛を育てる為に大量の穀物が必要な事/おはしの体験型イベント/エコクッキング/今回のテーマの見せ方を変えるとまた改めて意識づけられる/伝統料理・郷土料理/野菜の収穫(枝豆をもぎ取るなど)/レシピ/お菓子づくり/旬の食べ物について/親子で調理実習/好き嫌いをなくす取り組み/家畜類の扱い/農家さんの講話/次回もクッキングを希望/苦手な食べ物を食べられるイベント/給食の残りはどの様に処理しているのか？どれくらいのフードロスがあるのか？フードロスをなくす為にはどのような事が必要なのか？量の変更など/離乳食について/地産地消/子ども食堂/ペットボトルを減らすアクションのきっかけになる講座/添加物、遺伝子組み換え食品、食の安全、自給率向上 など

12.所感

参加型イベントは満足度も高く、概ね好評な感触を得た。イベントに参加することで食やSDGsに対する意識が改善された参加者も多く、開催の効果を感じることができた。また、魅力あるイベントであれば、少々実費が発生しても参加数に影響は少ないこともわかったほか、複数のイベントを開催することにより、より幅広い市民が興味を持つきっかけとなり、結果的に多くの参加者に来てもらえるきっかけになったと想定される。

今後、満足度高いイベントを開催するためには、社会的に関心度が高かったり親子で楽しめる内容を選ぶことが大切であるほか、体験型学習に重きを置いている子育て家庭が多く、そのニーズに応えられるイベントの開催が要点になると感じた。そのためには参画団体の協力が不可欠である。また、課題として、移動にかかる導線が長くなってしまう会場面の制約、スムーズな受付体制の確立、講話メインのイベントの集客等について、次回へ向けて検討の必要がある。

*** 2025年（下半期版）かわにし食育カレンダー ***

／ 川西市食育推進計画スローガン ／

“食”からひろがる 元気なかわにし



大阪青山大学学生

7 月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8 月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

*** 2025年（下半期版）かわにし食育カレンダー ***

／ 市民みんなと取り組む行動目標 ／

毎月19日は食育の日“わ”らって食べよう朝・ひる・パン!



川西市上下水道局経営企画課

9 月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10 月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

*** 2025年（下半期版）かわにし食育カレンダー ***

／ 市民みんなと取り組む行動目標 ／

毎月19日は食育の日“わ”らって食べよう朝・ひる・パン!



川西市生活安全課

11 月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12 月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

→ 赤線部分に切込みを入れる

↑ 赤線部分に切込みを入れる ↓